

取扱説明書 (設定編)

ネットワークコンビネーションカメラ (ドーム型)

型名 **VN-V685**
VN-V686B

VN-V685 (A)
VN-V686B (A)
VN-V686WPB (A)

ネットワークコンビネーションカメラ (屋外ドーム型)

型名 **VN-V686WPB**
VN-V686WPC

もくじ

はじめに

もくじ	2
-----------	---

ネットワーク設定

ネットワークの要件	3
IP アドレスの設定	6
IP アドレスの設定手順	6
パソコンの IP アドレス設定	7
Internet Explorer の設定	8
カメラとパソコンの接続	10
カメラの IP アドレス設定	12
ユーザー名とパスワードの入力	14

Internet Explorer を使った設定

設定	16
設定ページの開き方	16
基本設定 1	17
基本設定 2	18
カメラページ	21
エンコードページ	26
音声ページ (VN-V686WPC のみ)	28
アラームページ	30
アラーム環境ページ	34
PTZ ページ	37
オートパトロールページ	43
プライバシーマスクページ	45
動き検出ページ	47
ネットワーク基本ページ	49
ネットワーク詳細ページ	50
プロトコルページ	51
手動配信ページ	52
アクセス制限ページ	54
時刻ページ	56
パスワードページ	57
メンテナンスページ	58
各ページの工場出荷値一覧表	60
その他のページ	64
動作状況ページ	65
機器情報ページ	66
ポジションリストページ	69
パトロール情報ページ	71

操作


統合ビューワの操作	73
統合ビューワ画面構成	74
画質に関する設定	76
PTZ に関する設定	79
PTZ 制御	85
JPEG ビューワに関する設定	90
MPEG4 ビューワに関する設定	92
音声モニタに関する設定 (VN-V686WPC のみ)	94
オペレータ パスワード	96
ビューワの終了	97

その他

こんなときは	98
--------------	----

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意 : 操作上の注意が書かれています。
- メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書は、ネットワークの設定、Internet Explorer を使った設定および統合ビューワの操作について説明しています。
- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書で使われている画面は、実際のものとは異なる場合があります。
- カメラの取り付けについては、付属の「はじめにお読みください」と、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書 (設置編)」(pdf) をご覧ください。
- 機種固有の機能や設定値などについては、機種名を記載しています。

ネットワークの要件

- カメラが送信するデータ量に対して十分なネットワーク帯域を確保してください。また、帯域を越えるマルチキャストストリームを流さないでください。マルチキャストストリームによって帯域が専有されると、ネットワーク経由で本機を制御できなくなる場合があります。
- カメラが送信するデータ量は設定や配信数によって異なります。
- 送信できるビットレートの上限は約20Mbpsです。

総配信量の見積り

カメラからの JPEG 総ビットレートは、カメラの設定、クライアントの数、クライアントからの要求フレーム数により決まります。カメラからの MPEG4 総ビットレートは、配信数によって決まります。これらを考慮してシステム設計してください。

JPEG ストリームのビットレート

1 枚あたりの JPEG ファイルのサイズは、エンコードの設定やカメラ映像によって異なります。AFS を選択した場合は、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。VFS を選択した場合は、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズはカメラ映像に応じて増減します。

■ AFS(Average File Size) のファイルサイズ

配信ファイルサイズ選択可能範囲	
VGA	QVGA
10 kB ~ 100 kB	3 kB ~ 33 kB

■ VFS(Variable File Size) のファイルサイズ

		配信ファイルサイズ (参考値)	
		VGA	QVGA
画質の設定値	VFS1(高)	80 kB	27 kB
	VFS2	60 kB	20 kB
	VFS3	40 kB	13 kB
	VFS4(中)	30 kB	10 kB
	VFS5	25 kB	8 kB
	VFS6	20 kB	7 kB
	VFS7(低)	15 kB	5 kB

ビットレートの設定やクライアントからの要求フレームレートによって最大配信数は変わります。最大ではマルチキャストを含めて 20 本のストリームを配信できます。これらのフレームレートを合計したものが、総フレームレートになります。

例えば 2 個のクライアントから 10 fps を要求され、それとは別にマルチキャストで 10 fps を送信している場合、総フレームレートは次のようになります。

$$10+10+10=30 \text{ fps}$$

1 枚あたりの JPEG ファイルサイズが 30kB であれば、総ビットレートは次のようになります。

$$30 \text{ kB} \times 30 \text{ fps} = 900 \text{ kB/s} \approx 7.2 \text{ Mbps}$$

MPEG4 ストリームのビットレート

MPEG4 ストリームのビットレート方式は、VBR (可変ビットレート) または CBR (固定ビットレート) のいずれかの方式を選択できます。VBR 方式は入力映像信号の状況に応じてビットレートが変化します。VBR 方式の場合、画質は安定しますが、ビットレートの予測が困難です。CBR 方式は入力映像信号の状況に関係なく、一定のビットレートでエンコードします。CBR 方式の場合、画質が変化しますがビットレートの予測が容易です。

VBR、CBR とも、めやすとしてのビットレートを設定できます。(64kbps ~ 8000kbps)

ネットワークの要件 (つづき)

音声のデータ量 (VN-V686WPC のみ)

送信する音声データは最大で2本です。受信する音声データは最大で1本です。音声データは1本あたり64 kbpsです。音声のデータ量は次の式で計算できます。

64 kbps × 本数

本数はTCPで送信している本数(クライアントの本数)、マルチキャストで送信している本数、および受信している本数を合計したものです。例えばカメラが2本の音声を送信し、1本の音声を受信している場合、データ量は次のようになります。

$$64 \text{ kbps} \times 3 = 192 \text{ kbps}$$

配信数制限

カメラは設定およびクライアントからの要求により配信数の上限が決まります。

JPEGの配信方法は、“フレームレート優先”モードと“クライアント数優先”モードのどちらかを選択できます。“フレームレート優先”モードは、クライアントから要求されたフレームレートでJPEGを配信するモードです。配信ストリームの中で最も高いビットレートを基準に、最大配信数が決まります。“クライアント数優先”モードは、多数のクライアントから要求が来た場合に、要求されたフレームレートより低いフレームレートでJPEGを配信することにより、多数のクライアントを受け付けるモードです。最大20クライアントからの配信要求を受け付けることができます。

■ フレームレート優先モードを選択した場合

クライアントから要求されたフレームレートでJPEGを配信します。

最大配信数を超過して配信要求を行なわれた場合、配信要求を受け付けません。

● JPEGのみを配信する場合

例えばクライアントAが1 Mbpsを要求し、クライアントBが5 Mbpsを要求している場合、5 Mbps以下の要求をさらに2本(合計4本)配信可能です。

JPEGのみを配信する場合の最大配信数

ビットレートが最大の配信	最大配信数	合計最大ビットレート
1 Mbps 以下	20	20 Mbps
5 Mbps 以下	4	20 Mbps
10 Mbps 以下	2	20 Mbps
10 Mbps を越える場合	1	設定可能な最大の値 (24 Mbps)

● JPEGとMPEG4を同時に配信する場合
最大でJPEGを2クライアント、MPEG4を3クライアント、それぞれ配信可能です。ただし、合計ビットレートが20 Mbpsを超過してしまう場合は配信要求を受け付けません。

JPEGとMPEG4を同時に配信する場合の最大配信数

JPEG 最大配信数	MPEG4 最大配信数	合計 ビットレート
2	3	20 Mbps 以下

● MPEG4のみを配信する場合

設定されたビットレートにより最大配信数が決まります。最大配信数を超過して配信要求が行われた場合、配信要求を受け付けません。

MPEG4のみを配信する場合の最大配信数

設定 ビットレート	最大 配信数	合計最大 ビットレート
0.6 Mbps 以下	20	12 Mbps
3 Mbps 以下	4	12 Mbps
4 Mbps 以下	3	12 Mbps
6 Mbps 以下	2	12 Mbps
6 Mbps を越える 場合	1	設定可能な最大の 値 (8 Mbps)

■ クライアント数優先モードを選択した場合

● JPEGのみを配信する場合

フレームレート優先モードで配信要求を受け付けない条件においてはフレームレート優先モードと同じく、クライアントから要求されたフレームレートでJPEGを配信します。フレームレート優先モードで配信要求を受け付けられない条件においては、ビットレートの上限が下の表の値になるようにフレームレートを制御し、最大20クライアントからの配信要求を受け付けます。例えばクライアントA、Bがそれぞれ10 Mbpsを要求・受信している場合にクライアントCが5 Mbpsを要求すると、各クライアントへの配信ビットレートが5 Mbps以下となるようにフレームレートを下げます。

JPEGのみを配信する場合におけるビットレートの上限

現在の配信数	上限ビット レート	合計最大ビット レート
2 以下	10 Mbp	20 Mbp
3~4	5 Mbp	20 Mbp
5~20	1 Mbp	20 Mbp

- JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合
フレームレート優先モードで配信要求を受け付けない条件においてはフレームレート優先モードと同じ動作になります。フレームレート優先モードで配信要求を受け付けない条件においては、ビットレートの上限が下の表の値になるように JPEG 配信のフレームレートを制御し、JPEG と MPEG4 の配信数の合計が最大 20 となるまで配信要求を受け付けます。ただし、MPEG4 配信ストリームの合計ビットレートが 10 Mbps 以上の場合には配信要求を受け付けません。

JPEG と MPEG4 を同時に配信する場合における JPEG ビットレートの上限

現在の配信数	上限ビットレート	合計最大ビットレート
2 以下	5 Mbp	10 Mbp
3~4	2.5 Mbp	10 Mbp
5~20	0.5 Mbp	10 Mbp

- MPEG4 のみを配信する場合
設定されたビットレートにより最大配信数が決まります。最大配信数を超過して配信要求が行われた場合、配信要求を受け付けません。

MPEG4 のみを配信する場合の最大配信数

(※ 4 ページ)

メモ：

- 画像の配信中に設定ビットレートを変更すると、配信制限が正しく機能しない場合があります。

ネットワーク帯域が不足した場合

帯域が不足するとクライアントで取得できる JPEG の枚数（フレームレート）が少なくなります。また、映像配信が遅延します。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

ネットワークの遅延

クライアントが JPEG を TCP で取得する場合には、クライアントからの ACK を確認しつつカメラは送信します。遅延が大きいネットワークでは ACK を受信するまで送信できないため、フレームレートが低下します。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。マルチキャストで受信すれば、ネットワークの遅延によるフレームレート低下は無くなります。

ネットワークのジッター

ネットワークのジッターが大きいと、遅延時間の増大、映像のフレームレートの低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

パケットロス

カメラから TCP で画像を取得する場合、パケットロスは TCP の再送によりリカバリーされます。ただし再送による遅延が大きい場合には、データが欠落し、画像のフレームレート低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。カメラからのマルチキャスト送信でパケットロスが起こった場合、画像のフレームレート低下が起こります。MPEG4 の場合、ノイズが入り再生できなくなることがあります。

カメラで使用するプロトコル、ポート番号一覧

カメラには下記のプロトコル、ポート番号を使用します。ファイアウォールを設置する場合にはこれらのポートを通過させてください。

プロトコル/ ポート番号	用途
送信元	
TCP/80	JPEG/MPEG4 取得、 Web 設定ページ、API、 音声取得 (VN-V686WPC のみ)
TCP/5510	VSIP
UDP/5510	VSIP
UDP/9541	VSIP 発見プロトコル
TCP/10020 TCP/10021 TCP/10023	(調整用に予約)
TCP/49298	音声データ受信 (VN-V686WPC のみ)
TCP/32040	アラーム配信
宛先	
TCP/20、21	FTP
TCP/25	メール送信
TCP/110	POP (メール送信)
TCP/ ユーザー設定番号	アラーム送信
UDP/123	SNTP
UDP/ ユーザー設定番号	アラーム送信

IP アドレスの設定

IP アドレスの設定手順

カメラの IP アドレスを下記手順で設定します。

Step1 パソコンの IP アドレス設定 (7 ページ)

設定用パソコンの IP アドレスを設定します。



Step2 Internet Explorer の設定 (8 ページ)

設定用パソコンとカメラを接続するために、Internet Explorer の設定を行います。



Step3 カメラとパソコンの接続 (10 ページ)

設定用パソコンとカメラを接続します。



Step4 カメラの IP アドレス設定 (12 ページ)

[基本設定 1] 画面の [IP 設定] 項目を、“固定 IP” または、“DHCP” に設定します。

- IP アドレスを設定するためのパソコンをご用意ください。

- 設定用パソコンの最小仕様

OS	: Windows XP(Professional または Home Edition) (SP2)
	: Windows Vista Business(SP1)
Web ブラウザ	: Internet Explorer
	XP :Version 6.0
	Vista :Version 7.0

ご注意:

- 本機に IP アドレスを設定する場合、本機と設定用パソコン、およびスイッチングハブのみで構成されたネットワークで設定を行なってください。
- 他のネットワーク機器や他のネットワークと接続されたハブに LAN ケーブルを接続し、設定を行うことはトラブルの原因となります。

- IP アドレスを設定するためのシステム構成

工場出荷時は“固定 IP” (DHCP クライアント機能がオフ) になっており、カメラの起動後、下記の IP アドレスで起動します。

IP アドレス : 192.168.0.2
サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : なし

メモ:

- カメラへ固定の IP アドレスを設定するために、カメラ、スイッチングハブ、および設定用パソコンをカテゴリー 5 以上のストレート LAN ケーブルで接続してください。

パソコンの IP アドレス設定

パソコンの IP アドレスを、カメラと通信可能なものに設定してください。
本項目は、Windows XP を基本に記述してあります。

1 [スタート] をクリックする

- [コントロールパネル]-[ネットワークとインターネット接続]-[ネットワーク接続]の順に選択します。

Windows Vista:

- [設定]-[コントロールパネル]-[ネットワーク共有センター]-[ネットワーク接続の管理]の順に選択します。

2 Internet Explorer を起動するパソコンが、つながれているネットワークを選択する

- 右クリックし、[プロパティ]を選択します。
- [Microsoft ネットワーク用クライアント]と[インターネットプロトコル(TCP/IP)]のチェックボックスが、選択されていることを確認します。

Windows Vista:

- [Microsoft ネットワーク用クライアント]と[インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]のチェックボックスが、選択されていることを確認します。

3 [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする

Windows Vista:

- [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)]を選択し、[プロパティ]をクリックします。

4 IP アドレスを設定する

① [次の IP アドレスを使う] を選択します。

② [IP アドレス] を設定します。(工場出荷時のカメラに対応するには、例えば 192.168.0.100)

メモ： _____

- 変更する前に必ず元の IP アドレスのメモをとってください。

ご注意： _____

- ネットワーク環境内で同じ IP アドレスを使わないように設定してください。

③ [サブネットマスク] は設定作業に適切な値としてください。不明な場合はネットワークの管理者に確認してください。
(初期設定に対応するには、255.255.255.0)

④ [デフォルトゲートウェイ] がある場合、その IP アドレス (例えば 192.168.0.254) を設定します。

⑤ [OK] をクリックします。

5 [ローカルエリア接続のプロパティ] 画面の [OK] をクリックする

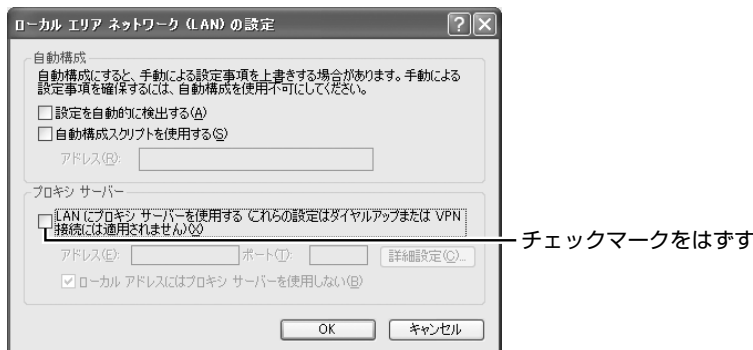
IP アドレスの設定 (つづき)

Internet Explorer の設定

1 パソコンで Internet Explorer を起動する

2 Internet Explorer にプロキシが設定されている場合には、次の手順で Internet Explorer のプロキシをオフにする

- [ツール]-[インターネットオプション]-[接続]-[LAN の設定] の順に選択し、[ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ウィンドウの [プロキシサーバー] 内の [LAN にプロキシサーバーを使用する] のチェックマークをはずします。

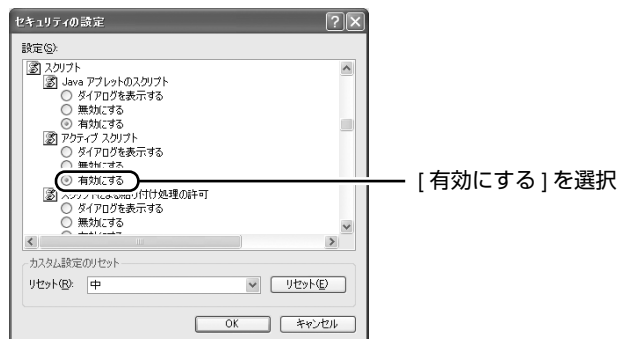


3 Internet Explorer でアクティブスクリプトが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- まず [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] で、[信頼済みサイト] を選択します。その後、直下の [信頼済みサイト [サイト...]] が選択できるようになり、それをクリックし表示されるウィンドウで、[このゾーン of サイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックマークをはずし、次の Web サイトをゾーンに追加します。

http://192.168.0.2

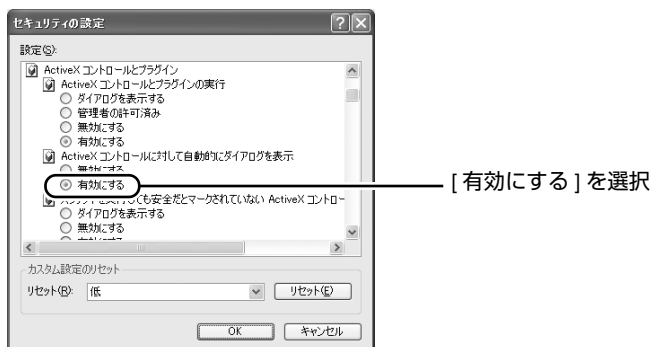
- 次に [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ] で [信頼済みサイト] を選択し、[レベルのカスタマイズ] をクリックします。開いた [セキュリティの設定] ウィンドウから [スクリプト]-[アクティブスクリプト] の [有効にする] を選択します。



Internet Explorer の設定 (つづき)

4 Internet Explorer で Active X コントロールとプラグインが有効になっていない場合には、次の手順で有効にする

- [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] で、[信頼済みサイト] をクリックします。[レベルのカスタマイズ] を選択し、[セキュリティの設定] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウから [Active X コントロールとプラグイン] の全項目を [有効にする] にします。また、[その他] にある [サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する] を有効にします。



5 ポップアップブロックを無効にする

Internet Explorer でポップアップブロックが“有効”になっていると、カメラを接続することができません。

その場合には下記手順で、ポップアップブロックを“無効”にしてください。

- [ツール] - [ポップアップブロック] - [ポップアップブロックを無効にする] を選択すれば、すべてのサイトが許可されます。
- 本機などの特定のサイトだけ許可したい場合には [ツール] - [ポップアップブロック] - [ポップアップブロックを有効にする] を選択し、その後、選択可能になる [ツール] - [ポップアップブロック] - [ポップアップブロックの設定] を選択し、[ポップアップブロックの設定] ウィンドウを開きます。開いたウィンドウに許可する Web サイトのアドレスとしてカメラのアドレスを追加します。

6 ツールプラグインを Internet Explorer に入れている場合、ツールプラグインのポップアップブロック機能も無効にする

IP アドレスの設定 (つづき)

カメラとパソコンの接続

1 Internet Explorer を起動する



メモ：

- Internet Explorer でインターネットへのアクセスにプロキシサーバーが設定されていると、直接指定ができない場合があります。そのときは、Internet Explorer のプロキシ設定の変更を行なってください。

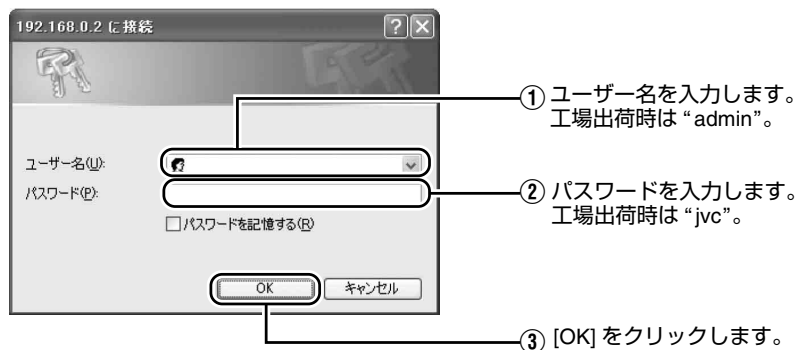
■ カメラの IP アドレスがわからない場合

カメラの IP アドレスがわからない場合、パソコンでアクセスし設定、変更することができません。IP アドレスを知る手段としては、以下があります。

- 添付の CD-ROM 内の [Tool_J] フォルダにある “検索ツール” を使って、LAN 内のカメラを検索することができます。

※ “検索ツール” の詳細については、添付の CD-ROM 内の “Readme” ファイルをご覧ください。

2 ユーザー名、パスワードを入力する (管理者権限でログインします) (☞ 14 ページ)



メモ：

- [セキュリティ情報] 画面が表示されたら、[はい] をクリックして先へ進んでください。

3 カメラの統合ビューワーが表示される



4 オペレーターパスワード入力画面が表示される



- ① オペレーターパスワード（工場出荷時は“jvc”）を入力します。
- ② [OK]をクリックします。

メモ：—

- パスワードがパソコンに記憶されている場合は、オペレーターパスワード入力画面は表示されません。“カメラのIPアドレス設定”に進んでください。(☞ 12 ページ)

IP アドレスの設定 (つづき)

カメラの IP アドレス設定

1 統合ビューワーの [詳細設定] をクリックする



2 [基本設定 1] 画面が表示される



① [IP 設定] 項目を設定します。

● 固定 IP に設定する場合：

“ 固定 IP ” に設定し、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の欄に設定したい値を入力します。

● DHCP に設定する場合：

工場出荷時は“ 固定 IP ” (DHCP クライアント機能がオフ) になっています。DHCP サーバーから IP アドレスを割り当てる場合は、DHCP サーバーを LAN に接続し、カメラの [IP 設定] 項目を“ DHCP ” に設定し、[OK] をクリックしてください。

カメラに割り当てられる IP アドレスについてはネットワーク管理者にお尋ねください。

ご注意：

- DHCP サーバーからカメラの MAC アドレスへ割り当てる IP アドレスが、毎回同じになるよう DHCP サーバーの設定を行なってください。上記設定を行わないと、接続できない場合があります。

② [タイムゾーン] を選択します。

③ [OK] をクリックします。

3 確認画面が表示される

[OK] をクリックします。

本機は新しい IP アドレスで再起動します。再起動には約 1 分かかります。

メモ：

- カメラの IP アドレスが変更されたため、このパソコンからアクセスできなくなる場合があります。引き続き同じパソコンからカメラへアクセスする場合は、パソコンの IP アドレスを設定し直してください。

開いた画面の表示や構成がおかしい場合は、以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] – [画面] で [画面のプロパティ] ウィンドウを開く
- 2 [画面のプロパティ] ウィンドウの [設定] タブをクリックし、[詳細設定] をクリックする
- 3 [全般] タブの [DPI 設定] が [通常のサイズ (96DPI)] になっているか確認する
- 4 他の設定になっていた場合、[通常のサイズ (96DPI)] に設定を変更し、Windows を再起動する

IP アドレスの設定 (つづき)

ユーザー名とパスワードの入力

最初にユーザー名とパスワードの入力を要求されます。(P. 10 ページ)
カメラはアクセス権限のレベルが3つあり、工場出荷時には次のように設定されています。

ユーザー名	工場出荷時のパスワード	説明
admin	jvc	すべての操作および設定変更が可能
operator	jvc	ネットワーク関係、メンテナンスを除く設定変更が可能
user	jvc	画像の閲覧および一部の操作が可能

● 各ユーザーがアクセスできるページ

各ユーザーがアクセスできるページが限定されています。また、Web ページ上のリンクの表示もユーザーのアクセス権限に合わせてアクセスできるページへのリンクのみ表示されます。

● admin

基本設定 1	[ネットワーク] [時刻]
基本設定 2	[カメラ] [エンコード] [JPEG] [MPEG4]
詳細設定	[カメラ] [エンコード] [音声] (VN-V686WPC のみ) [アラーム] [アラーム環境] [PTZ] [オートパトロール 0] [オートパトロール 1] [オートパトロール 2] [プライバシーマスク] [動き検出] [ネットワーク基本] [ネットワーク詳細] [プロトコル] [手動配信] [アクセス制限] [時刻] [パスワード] [メンテナンス] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト] [パトロール情報 0] [パトロール情報 1] [パトロール情報 2]

● operator

基本設定 2	[カメラ] [エンコード] [JPEG] [MPEG4]
詳細設定	[カメラ] [エンコード] [音声] (VN-V686WPCのみ) [アラーム] [アラーム環境] [PTZ] [オートパトロール 0] [オートパトロール 1] [オートパトロール 2] [プライバシーマスク] [動き検出] [手動配信] [その他] [動作状況] [機器情報] [ポジションリスト] [パトロール情報 0] [パトロール情報 1] [パトロール情報 2]

● user

詳細設定	[その他]
------	-------

メモ：_____

- トップページを表示する前に、[セキュリティ情報]画面が表示されます。[はい]をクリックすると先へ進みます。この警告画面を表示させたくない場合は、Internet Explorer の設定を次のように変更してください。
 - [ツール]-[インターネットオプション]-[セキュリティ]を開き、[信頼済みサイト]を選択します。
 - その後、[レベルのカスタマイズ]をクリックし[その他]-[混在したコンテンツを表示する]の“有効にする”を選択します。

ご注意：_____

- 設定変更の直後にリセットあるいは電源を落とさないでください。変更した設定内容が、正しく保存できない場合があります。
 - JPEG や MPEG4 を送信中に設定を変更すると、JPEG や MPEG4 の送信が一時的に中断されることがあります。
-

設定

設定ページの開き方

1 Internet Explorer の URL 欄に、カメラの IP アドレスを入力する (☞ 10 ページ)

- 統合ビューワーが開きます。



2 [詳細設定] をクリックする

- ユーザー名 “admin” でアクセスすると、[基本設定 1] ページが開きます。(☞ 17 ページ)
- ユーザー名 “operator” でアクセスすると、[基本設定 2] ページが開きます。(☞ 18 ページ)
- ユーザー名 “user” でアクセスすると、[その他] ページが開きます。(☞ 64 ページ)

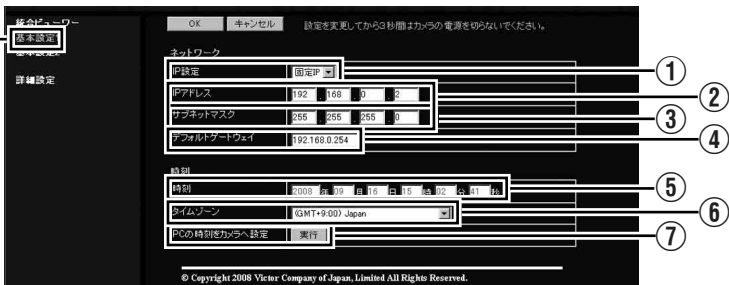
基本設定 1

ネットワークの基本的な設定をするページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [基本設定 1] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。

クリック



メモ：

- [基本設定 1] の URL を Internet Explorer のアドレス欄に直接入力すると、統合ビューワーを経由しないで [基本設定 1] 設定画面を開くことができます。

例えばカメラの IP アドレスが 192.168.0.2 であれば、次を入力してください。

VN-V685 : <http://192.168.0.2/cgi-bin/v685display.cgi?v685basicmenu1.html>

VN-V686B/VN-V686WPB/VN-V686WPC : <http://192.168.0.2/cgi-bin/v686display.cgi?v686basicmenu1.html>

ネットワーク	
① IP 設定	DHCP クライアント機能を設定します。 DHCP を有効に設定する場合は、カメラを DHCP サーバーのあるネットワーク環境に接続してください。[IP 設定] 項目を “DHCP” に設定し、DHCP サーバーが存在しない場合は IP アドレス 192.168.0.2、サブネットマスク 255.255.255.0 に設定され、約 2 分後に起動します。(☞ 12 ページ)
② IP アドレス	カメラの IP アドレスを設定します。
③ サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを設定します。
④ デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトゲートウェイを設定しない場合には、0.0.0.0 を入力してください。
時刻	
⑤ 時刻	カメラが持つ時計の時刻を表示しています。 時刻を変更するには、[PC の時刻をカメラへ設定] 項目 ⑦ の [実行] をクリックしてください。または、[時刻] ページの [時刻] 項目 ④ に直接時刻を入力し、[OK] をクリックしてください。(☞ 56 ページ)
⑥ タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
⑦ PC の時刻をカメラへ設定	[実行] をクリックすると、ご使用のパソコンの時刻をカメラに取り込むことができます。

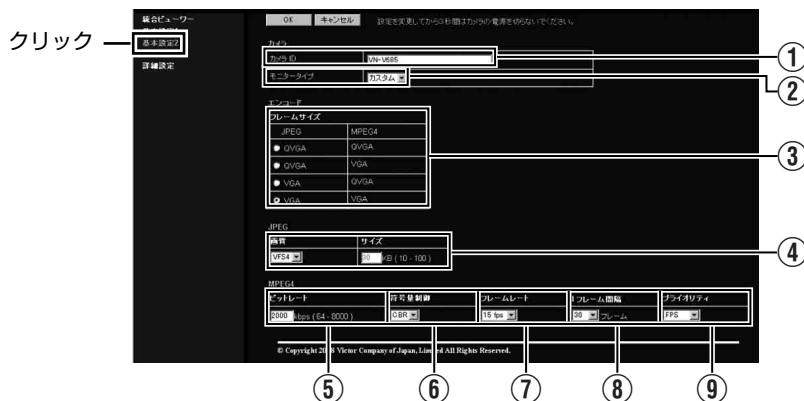
設定 (つづき)

基本設定 2

カメラ、JPEG、MPEG4 のパラメーターの基本的な設定をするページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [基本設定 2] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。



メモ :

- [基本設定 2] の URL を Internet Explorer のアドレス欄に直接入力すると、統合ビューワーを経由しないで [基本設定 2] 設定画面を開くことができます。

例えばカメラの IP アドレスが 192.168.0.2 であれば、次を入力してください。

VN-V685 : <http://192.168.0.2/cgi-bin/v685display.cgi?v685basicmenu2.html>

VN-V686B/VN-V686WPB/VN-V686WPC

: <http://192.168.0.2/cgi-bin/v686display.cgi?v686basicmenu2.html>

カメラ

① カメラ ID	ここに入力された文字列は、JPEG のコメントセグメント (項目名: camera) に書き込まれます。JPEG のファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。
② モニタータイプ	<p>映像を表示するモニターに合わせてモニターの種類を選択します。選択されたモニターの種類に応じて画質設定が変わります。</p> <p>カスタム : 好みに合わせて画質を設定できます。 詳細な設定は、詳細設定のカメラページで行います。(P. 21 ページ)</p> <p>LCD1, LCD2 : 液晶モニター用の画質設定になります。 2 種類の選択項目から好みのタイプを選択してください。</p> <p>CRT : CRT (ブラウン管) モニター用の画質設定になります。 [設定値: カスタム, LCD1, LCD2, CRT]</p>

エンコード

③ フレームサイズ	<p>JPEG および MPEG4 の各画面のフレームサイズを VGA (640 × 480)、または QVGA (320 × 240) から選択します。下記 4 種類のパターンから選択します。</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JPEG ファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。
-----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ 配信サイズの組み合わせ

	配信サイズ	
	JPEG	MPEG4
パターン ①	QVGA	QVGA
パターン ②	QVGA	VGA
パターン ③	VGA	QVGA
パターン ④	VGA	VGA

設定 (つづき)

基本設定 2 (つづき)

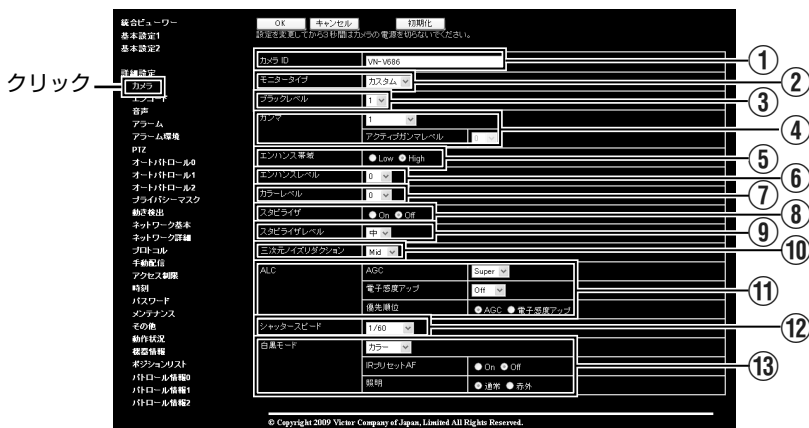
JPEG	
④ 画質 / サイズ	<p>JPEG の画質サイズ (符号量制御方式) とサイズ (目標ファイルサイズ) を指定します。“VFS1” から “VFS7” を選択した場合、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズは入力信号に応じて増減します。サイズ項目には、参考値が表示されます。記録容量が限られたレコーダーへ JPEG を記録する場合、この設定では、ファイルサイズが増減するので最大記録時間も変動します。</p> <p>“AFS” を選択した場合、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。サイズ項目で目標サイズを入力できます。</p> <p>[設定値 : VFS1 ~ VFS7, AFS]</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定値を AFS に設定した場合のみ画像サイズを設定することができます。 <p>[VGA でのサイズ設定値: 10 kB ~ 100 kB] [QVGA でのサイズ設定値: 3 kB ~ 33 kB]</p>
MPEG4	
⑤ ビットレート	<p>MPEG4 エンコードのビットレートを設定します。</p> <p>[設定値 : 64 kbps ~ 8000 kbps]</p>
⑥ 符号量制御	<p>MPEG4 の符号量制御方式を CBR(固定ビットレート) または VBR(可変ビットレート) にするかを選択します。</p> <p>CBR : 入力映像信号の状況に関係なく一定のビットレートでエンコードします。ビットレートの予測が容易です。</p> <p>VBR : 入力映像信号の状況に応じてビットレートを変えます。安定した画質となりますが、ビットレートの予測が困難となります。</p>
⑦ フレームレート	<p>MPEG4 のフレームレートを設定します。</p> <p>[設定値 : 1 fps, 7.5 fps, 10 fps, 15 fps, 25 fps, 30 fps]</p>
⑧ I フレーム間隔	<p>I フレーム間隔を設定します。MPEG4 は I フレームを起点にしてエンコードします。間隔を短くするほど、映像が激しく変化しても画質が安定しますが、あまり変化しない映像で画質が低下します。また、マルチキャストでパケットロスが起こった場合の映像の回復が短時間になります。</p> <p>[設定値 : 30, 60, 90, 120, 150]</p>
⑨ プライオリティ	<p>MPEG4 エンコード時、フレームレートと画質のどちらを優先するかを選択します。</p> <p>FPS : フレームレートを優先します。動きのある映像をスムーズにモニターしたい場合、この設定にします。</p> <p>Quality : 画質を優先します。</p>

カメラページ

カメラのパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [カメラ] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値に戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。
- このページの設定を、工場出荷時の値に戻したい場合には [初期化] をクリックしてください。



① カメラ ID	ここに入力された文字列は、JPEG のコメントセグメント（項目名：camera）に書き込まれます。JPEG のファイルフォーマットについては API ガイドをご覧ください。
② モニタータイプ	<p>映像を表示するモニターに合わせてモニターの種類を選択します。選択されたモニターの種類に応じて画質設定が変わります。</p> <p>カスタム : 好みに合わせて画質を設定できます。</p> <p>LCD1,LCD2 : 液晶モニター用の画質設定になります。2 種類の選択項目から好みのタイプを選択してください。</p> <p>CRT : CRT(ブラウン管) モニター用の画質設定になります。</p> <p>[設定値：カスタム, LCD1,LCD2, CRT]</p>
③ ブラックレベル	<p>黒レベルを調整します。数値を小さくすると映像が暗くなり、数値を大きくすると明るくなります。</p> <p>[設定値：0～2]</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “0” に設定した場合、接続機器によっては黒レベルが低くなりすぎたり、黒がつぶれたりすることがあります。 ● MPEG4 画像を使用する場合、“1” または “2” に設定してください。

設定 (つづき)

カメラページ (つづき)

<p>④ ガンマ</p>	<p>映像の暗い部分の見え方を変えたいとき、ガンマカーブを変更します。</p> <p>0 : CRT に適したガンマ補正をします。 1 : 一部の LCD に適したガンマ補正をします。 2 : ガンマ補正しません。一部の LCD に適した設定です。 アクティブ : 画像の暗さに応じて最適なガンマ補正をかけます。[アクティブガンマレベル]で、レベルを選択します。</p> <p>[設定値: 0, 1, 2, アクティブ]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [モニタータイプ]項目②が“LCD1”, “LCD2”, “CRT”に設定されている場合は、固定の設定となります。
<p>アクティブガンマレベル</p>	<p>[ガンマ]項目④が“アクティブ”に設定されている場合の効果を調節します。</p> <p>数値を小さく : 輝度差の小さな被写体に適しています。 数値を大きく : 輝度差の大きな被写体に適しています。</p> <p>[設定値: -5 ~ 0 ~ 5]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被写体によっては、色が実際と異なって見えることがあります。 ● 被写体の明るさによっては、ノイズ、色相変化がめだつことがあります。故障ではありません。 ● [ガンマ]項目④が“アクティブ”以外に設定されている場合は設定できません。
<p>⑤ エンハンス帯域</p>	<p>エンハンス（輪郭強調）の種類を設定します。</p> <p>Low : 輪郭強調が太くなります。 High : 輪郭強調が細くなります。</p> <p>[設定値: Low, High]</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [モニタータイプ]項目②が“LCD1”, “LCD2”, “CRT”に設定されている場合は、固定の設定となります。

⑥ エンハンスレベル	<p>エンハンス（輪郭強調）の強さを調整します。</p> <p>数値を大きく : 輪郭強調が強くなります。</p> <p>数値を小さく : 輪郭強調が弱くなります。</p> <p>[設定値: -5 ~ 0 ~ 5]</p>
⑦ カラーレベル	<p>色の濃さを調整します。</p> <p>数値を大きく : 色が濃くなります。</p> <p>数値を小さく : 色が薄くなります。</p> <p>[設定値: -5 ~ 0 ~ 5]</p>
⑧ スタビライザ	<p>振動による画像の揺れを抑える機能です。</p> <p>“On” に設定すると、画像の揺れを抑制します。</p> <p>Off : 機能しません。</p> <p>On : 機能します。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “On” に設定した場合、画像が約 1.3 倍に電子ズームされます。 ● 電子ズーム領域では、補正は効きません。 ● 電源 ON から約 1 分間、およびパン/チルト/ズーム動作中に補正は効きません。 ● 速い周期の画揺れや、カメラヘッドのパン/チルト角度によっては、補正が効きにくい場合があります。また、設置環境によっては、カメラに伝わる振動によってスタビライザが誤動作し、画揺れが増えることがあります。このような場合には、スタビライザを“Off” にしてご使用ください。
⑨ スタビライザレベル	<p>[スタビライザ] 項目⑧の補正レベルを 3 段階に設定できます。</p> <p>“高” にすると“中” に比べて補正量が大きくなり、“低” にすると“中” に比べて補正量が小さくなります。</p> <p>[設定値: 低, 中, 高]</p>
⑩ 3次元ノイズリダクション	<p>画面上のノイズが軽減されます。</p> <p>[設定値: Off, Low, Mid, High]</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 被写体照度に応じてノイズリダクション効果を自動調整します。 ● 動きのある被写体では、ノイズリダクション効果を高めるほど原理上残像が生じます。 ● “Mid”、“High” 設定時は、被写体が暗い場合、解像度が低下します。

設定 (つづき)

カメラページ (つづき)

<p>⑪ ALC</p>	<p>被写体の明るさに応じて映像レベルを一定に保つ機能です。</p>
<p>AGC</p>	<p>AGC(自動ゲイン制御)の設定をします。</p> <p>Off : AGC 機能を使用しないとき</p> <p>Mid : 光量が不足しているとき</p> <p>High : 特に光量が不足しているとき</p> <p>Super : “High” に設定しても明るさが不足のとき</p> <p>[設定値: Off, Mid, High, Super]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AGC 機能を使用すると、暗い場所では画面がザラつきます。 ● [3次元ノイズリダクション]項目⑩を設定すると画面のザラつきが軽減できます。
<p>電子感度アップ</p>	<p>露光時間を長くして感度を上げる機能です。</p> <p>被写体が暗くなったとき、感度が自動的に何倍まで上がるかを設定します。“x32”の場合、“Off”に比べ32倍まで自動的に連続で感度が上がります。感度が上がると、シャッタースピードが遅くなるため、動きは不自然なものとなります。また、解像度も低下します。シャッタースピードが遅くなったときは、3次元ノイズリダクションの効果は減少します。</p> <p>[設定値: “Off”, x2, x4, x8, x16, x32, x64, x128]</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 倍率を上げると、画面がザラついたり、白ぼっくなったり、白キズが現れる場合がありますが、異常ではありません。 ● [電子感度アップ]を“Off”以外に設定したとき、蛍光灯や水銀灯などの照明下では、フリッカ(チラツキ)が発生します。これは、電子感度アップの原理上発生するもので故障ではありません。 ● [シャッタースピード]項目⑫を“1/250”~“1/10000”に設定している場合、[電子感度アップ]は“Off”に設定してください。
<p>優先順位</p>	<p>AGC : 被写体が暗くなると、AGC(自動ゲイン制御)が優先的に機能します。</p> <p>電子感度アップ: 被写体が暗くなると、電子感度アップ機能が優先的に機能します。</p> <p>[設定値: AGC, 電子感度アップ]</p>

<p>⑫ シャッタースピード</p>	<p>電子シャッターのスピードを設定します。 [電子感度アップ]項目を“x2”以上に設定すると、選択できる設定値は、“1/60”と“1/100”のみです。 [設定値：1/60,1/100,1/250,1/500,1/1000,1/2000,1/4000,1/10000] メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 商用電源周波数 50Hz 地域では“1/100”に、60Hz 地域では“1/60”に設定すると、蛍光灯などのチラツキを軽減することができます。 ● シャッタースピードが高速になるほど、明るい光源の上下に白い帯のような線が発生する CCD 特有のスミア現象が強調されます。
<p>⑬ 白黒モード</p>	<p>カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。 カラー : 常にカラーモードとなります。 白黒 : 常に白黒モードとなります。 オート-低, オート-中, オート-高 : 照度によって、自動的にカラーモードと白黒モードを切り換えます。感度を 3 種類から選択して設定してください。照度が 30 秒間続けて判定範囲内に入っていると、モードが切り換わります。 メモ：_____</p> <p>白黒/カラー切り換えを確実に行うために</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [白黒モード]項目を“オート-低, オート-中, オート-高”に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒/カラーの切り換えを行うことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。より確実に切り換えを行うためには、外部センサー（別売）を本機のアラームケーブルと接続し、切り換えを行うことをおすすめいたします。
<p>IR プリセット AF</p>	<p>白黒モードは可視光域と近赤外光域両方に感度をもつため、光源の種類によっては、カラーモードから白黒モードに切り換えるときにフォーカスがずれることがあります。その場合、“On”に設定すると、自動的にフォーカスを合わせることができます。 Off : 機能しません。 On : 機能します。</p>
<p>照明</p>	<p>白黒モード時に被写体を照らす照明の設定を行います。 通常 : 通常の照明はこの設定にします。 赤外 : 赤外発光の照明を使用する場合に設定します。 メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通常の太陽光、蛍光灯下で“赤外”に設定すると、カラーから白黒モードに正常に切り換わりません。

設定 (つづき)

エンコードページ

JPEG および MPEG4 のエンコードパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [エンコード] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。
- 統合ビューワーで再生中に本ページの設定内容を変更した場合には、統合ビューワーを再起動してください。
- カメラが送信できるビットレートには上限があります。変更した設定が上限を超える場合、設定変更は受け付けません。送信の上限については [ネットワークの要件] (※3 ページ) をご覧ください。

スクリーンショットは、エンコード設定のウェブインターフェースを示しています。左側のナビゲーションメニューには「エンコード」が選択されています。右側の設定領域には、フレームサイズ、JPEG、MPEG4 の各セクションがあります。各要素は数字でラベルされています。

① フレームサイズ設定表

JPEG	MPEG4
<input type="radio"/> QVGA	<input type="radio"/> QVGA
<input type="radio"/> VGA	<input type="radio"/> VGA
<input type="radio"/> QVGA	<input type="radio"/> QVGA
<input type="radio"/> VGA	<input type="radio"/> VGA

② JPEG 設定表

画質	サイズ
VFS4	30 KB (10 - 100)

③ MPEG4 設定表

ビットレート	符号量制御	フレームレート	1フレーム間隔	プライオリティ
2000 kbps (64 - 8000)	CBR	15 fps	30 フレーム	FPS

④ 著作権情報: © Copyright 2011 Victor Company of Japan, Limited. All Rights Reserved.

① フレームサイズ	JPEG および MPEG4 の各画面のフレームサイズを VGA(640x480) または QVGA(320x240) から選択します。 4 種類のパターンから選択します。
JPEG	
② 画質 / サイズ	JPEG の符号量制御方式と目標ファイルサイズを指定します。 “VFS1” から “VFS7” を選択した場合、JPEG エンコード時の量子化テーブルは一定に保たれ、ファイルサイズは入力信号に応じて増減します。サイズ項目には、規定値が表示されます。記録容量が限られたレコーダーへ JPEG を記録する場合、この設定では、ファイルサイズが増減するので最大記録時間も変動する点にご注意ください。 “AFS” を選択した場合、複数の JPEG の平均サイズが目標ファイルサイズになるようにエンコードされます。[サイズ] 項目で目標サイズを入力できます。 [設定値 : VFS1 ~ VFS7, AFS] [VGA でのサイズ設定値 : 10 kB ~ 100 kB (“AFS” 設定時のみ)] [QVGA でのサイズ設定値 : 3 kB ~ 33 kB (“AFS” 設定時のみ)]
MPEG4	
③ ビットレート	MPEG4 エンコードのビットレートを設定します。 [設定値 : 64 kbps ~ 8000 kbps]
④ 符号量制御	MPEG4 の符号量制御方式を CBR(固定ビットレート) または VBR(可変ビットレート) にするかを選択します。 CBR : 入力映像信号の状況に関係なく一定のビットレートでエンコードします。ビットレートの予測が容易です。 VBR : 入力映像信号の状況に応じてビットレートを変えます。安定した画質となりますが、ビットレートの予測が困難となります。
⑤ フレームレート	MPEG4 のフレームレートを設定します。 [設定値 : 1 fps, 7.5 fps, 10 fps, 15 fps, 25 fps, 30 fps]
⑥ I フレーム間隔	I フレーム間隔を設定します。MPEG4 は I フレームを起点にしてエンコードします。間隔を短くするほど、映像が激しく変化しても画質が安定しますが、あまり変化しない映像で画質が低下します。また、マルチキャストでバケットロスが起こった場合の映像の回復が短時間になります。 [設定値 : 30, 60, 90, 120, 150]
⑦ プライオリティ	MPEG4 エンコード時、フレームレートと画質のどちらを優先するかを選択します。 FPS : フレームレートを優先します。動きのある映像をスムーズにモニターしたい場合、この設定にします。 Quality : 画質を優先します。 メモ : ● [符号量制御] 項目④が“CBR”の場合に有効です。フレームレートやフレームサイズに対して極端に小さいビットレートを設定すると“CBR”、“VBR”のいずれも最も低い映像となり、フレームレートに違いが出ます。フレームをスキップする“Quality”の方が、“FPS”よりも小さいビットレートを実現できます。

設定 (つづき)

音声ページ (VN-V686WPC のみ)

音声のパラメーターを設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [音声] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。

クリック

The screenshot shows a web interface for audio settings. On the left is a navigation menu with items like 'ホーム', '基本設定1', '基本設定2', '詳細設定', 'カメラ', 'マイク', 'マイク電源供給', 'アラーム', 'アラーム環境', 'PTZ', 'オートリボール', 'プライバシーマスク', '動き検出', 'ネットワーク基本', 'ネットワーク詳細', 'プロトコル', '手動配信', 'アクセス制限', '時刻', 'パスワード', 'メンテナンス', 'LED 設定', 'その他', '動作状況', and '機器情報'. The main content area has a top bar with 'OK' and 'キャンセル' buttons and a warning: '設定を変更してから3秒間はVN-V686の電源を切らないでください。'. Below this are three rows of settings: '通信方式' (with radio buttons for '半二重' and '全二重'), 'マイクゲイン' (with radio buttons for '0 dB', '20 dB', '26 dB', '32 dB', and 'AGC'), and 'マイク電源供給' (with radio buttons for 'On' and 'Off'). Callout 1 points to the '通信方式' row, callout 2 to the 'マイクゲイン' row, and callout 3 to the 'マイク電源供給' row. Below these is a table for audio files:

音声ファイル	ファイル登録	テスト再生
No.1 登録なし	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再生"/> <input type="button" value="停止"/>
No.2 登録なし	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再生"/> <input type="button" value="停止"/>
No.3 登録なし	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再生"/> <input type="button" value="停止"/>
No.4 登録なし	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再生"/> <input type="button" value="停止"/>
No.5 登録なし	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="登録"/> <input type="button" value="削除"/>	<input type="button" value="再生"/> <input type="button" value="停止"/>

Callout 4 points to the 'テスト再生' column of the table. At the bottom, there is a copyright notice: '© Copyright 2008 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.'

<p>① 通信方式</p>	<p>音声の通信方式を設定します。 半二重に設定した場合、パソコンからカメラへ音声を送信しているあいだは、カメラからパソコンへ送信される音声が消されます。 全二重に設定した場合、カメラからパソコンに送信される音声を聞きながら、パソコンからカメラに音声を送信できます。</p> <p>[設定値：半二重, 全二重]</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 全二重に設定した場合、パソコンから送信した音声がかメラに接続した外部マイク経由でパソコン側に戻ってきてしまいエコーが発生することがあります。その場合は半二重の設定でお使いください。
<p>② マイクゲイン</p>	<p>カメラに接続する外部マイクへのゲインを設定します。</p> <p>[設定値：0 dB, 20 dB, 26 dB, 32 dB, AGC]</p>
<p>③ マイク電源供給</p>	<p>カメラに接続する外部マイクへの電源供給を設定します。</p> <p>[設定値：On, Off]</p>
<p>④ 音声再生ファイル No.1~No.5</p>	<p>アラームが発生した場合にカメラのオーディオ出力端子から出力する音声ファイルを登録します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>■登録した音声を出力するには</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下記仕様の音声ファイルをパソコンに用意し、カメラに登録する <ul style="list-style-type: none"> ◆ファイルフォーマット WAV ファイルフォーマット ◆符号化方式 リニア PCM ◆サンプリング周波数 8 kHz ◆量子化ビット 16 bit ◆モノラル ◆最大サイズ 30 秒（再生ファイル 1～5 の合計とする） ● アラームページの [アクション] 項目を“音声再生”に設定する (P.30 ページ) <p>ご注意：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声ファイルの再生中に、統合ビューワーの音声送信機能を動作させると、音声ファイルの再生は停止します。 ● 統合ビューワーの音声送信機能が動作中、音声ファイルの再生はできません。 </div> <p>[登録] をクリックすると、選択した音声ファイルがカメラに登録されます。 [削除] をクリックすると、カメラに登録されている音声ファイルが削除されます。 [参照] をクリックすると、ファイルを選択する画面が表示され、用意した音声ファイルを選択します。</p> <p>[再生] をクリックすると、カメラに登録されている音声ファイルを再生し、カメラのオーディオ出力端子に出力します。 [停止] をクリックすると、音声ファイルの再生を停止します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WAV ファイルは、Windows のサウンドレコーダーや、汎用の音声処理ツールを使って、録音や作成ができます。

設定 (つづき)

アラームページ

アラームが発生した場合のアクションを設定するページです。

最大で5個のアクション (No.01 ~ No.05) まで設定できます。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アラーム] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。なお選択されたアクションに有効な項目だけが保存されます。アクションで無効を選択すると、各設定項目は初期化されます。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。

クリック

The screenshot shows the 'Alarm Action' configuration page. At the top, there are buttons for 'OK', 'キャンセル', and '設定を 更新してから10秒間はカメラの 監視を止めないでください。'. Below this is a table for configuring actions for 'No.01'. The table has columns for 'アクション', '条件1', '条件1,2の閾値', and '条件2'. The first row is pre-filled with '無効', '入力メロイ', '秒 (1 - 3600)', and '無効'. Below the table are various settings: 'アクションボジションナンバー' (0-99), '音声ファイル' (1-5), 'リファボジションナンバー' (0-99), 'メール アドレス', 'メール 送信データ', '画像添付' (On/Off), 'TCP/UDP IPアドレス' (IPまたはFQDN), 'TCP/UDP ポート番号' (1-65535), 'TCP/UDP 通知データ', 'アラーム出力持続時間' (0-6000 秒), and '時間帯指定' (日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日) with '常に動作する' and time selection fields for each day.

Numbered callouts (1-11) point to the following elements:

- 1: OK button
- 2: キャンセル button
- 3: 設定を 更新してから10秒間はカメラの 監視を止めないでください。 button
- 4: No.01 label
- 5: アクション dropdown
- 6: アクションボジションナンバー input
- 7: リファボジションナンバー input
- 8: メール アドレス input
- 9: TCP/UDP IPアドレス input
- 10: アラーム出力持続時間 input
- 11: 時間帯指定 section

① アクション	<p>アクションの種類を指定します。</p> <p>無効 : アクションを起こしません。</p> <p>メール送信 : 電子メールを送信します。送信先のメールアドレスを指定してください。メールの件名は [Alarm from VN-V685(VN-V685)], [Alarm from VN-V686(VN-V686B/VN-V686WPB/VN-V686WPC)], メール差出人は [カメラ ID] になります。[メール送信データ] には送信するメッセージを記入してください。英数字の場合には最大 127 文字です。日本語の場合には、最大 63 文字です。メールに最新画像を添付する場合には、[画像添付] を “On” にしてください。</p> <p>プリポスト記録 +FTP</p> <p>: プリポスト記録した JPEG ファイルを FTP 送信します。プリポスト記録や FTP サーバーの設定はアラーム環境ページにあります。(☞ 34 ページ)</p> <p>FTP の転送レートは最大で 1 Mbps です。ポスト記録中に新しい FTP 用トリガーが起ると、その時点までをプリ記録とし、改めてポスト記録を開始します。ポスト記録を終えて FTP 送信を行なっている途中で新しい FTP 用のトリガーが起ると、新たなポスト記録を開始します。</p> <p>TCP 通知 : [TCP/UDP 通知データ] 欄に入力された文字列を [TCP/UDP IP アドレス] および [TCP/UDP ポート番号] で指定された送信先へ TCP で送信します。</p> <p>UDP 通知 : [TCP/UDP 通知データ] 欄に入力された文字列を [TCP/UDP IP アドレス] および [TCP/UDP ポート番号] で指定された送信先へ UDP で送信します。</p> <p>TCP/UDP 通知データ</p> <p>: 英数字の場合には最大 127 文字です。日本語の場合には、最大 63 文字です。</p> <p>アラーム出力 1 メイク</p> <p>: アラーム出力 1 をメイクにします。</p> <p>アラーム出力 1 ブレイク</p> <p>: アラーム出力 1 をブレイクにします。</p> <p>アラーム出力 2 メイク</p> <p>: アラーム出力 2 をメイクにします。</p> <p>アラーム出力 2 ブレイク</p> <p>: アラーム出力 2 をブレイクにします。 [アラーム出力持続時間] 欄でアラーム出力時間を設定します。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

設定 (つづき)

アラームページ (つづき)

<p>① アクション (つづき)</p>	<p>ポジション : [アクションポジションナンバー]項目⑤で設定したポジションへ移動します。</p> <p>音声再生 (VN-V686WPC のみ) : カメラに登録した音声再生ファイルを再生します。(☞ 28 ページ)</p> <p>白黒→カラー : [白黒モード]の設定を“白黒”から“カラー”へ変更します。</p> <p>カラー→白黒 : [白黒モード]の設定を“カラー”から“白黒”へ変更します。</p> <p>白黒モード: オート低 : [白黒モード]の設定を“オート-低”に変更します。</p> <p>白黒モード: オート中 : [白黒モード]の設定を“オート-中”に変更します。</p> <p>白黒モード: オート高 : [白黒モード]の設定を“オート-高”に変更します。</p> <p>メモ : ● [白黒モード]の詳細は (☞ 25 ページ) をご覧ください。 ● [条件1]項目②で“白黒→カラー”、“カラー→白黒”を設定した場合、メールに添付する画像は、白黒およびカラーを特定できません。</p>
<p>② 条件 1</p>	<p>[アクション]項目①で設定した動作を起こすための1番目のトリガーを指定します。</p> <p>[設定値 : 入力1メイク, 入力2メイク, 入力1ブレイク, 入力2ブレイク, 動き検出, ファン停止, ポジション, 白黒→カラー, カラー→白黒]</p> <p>メモ : ● 2番目のトリガーをオフにした場合には、1番目のトリガーだけでアクションを起こします。 ● 1番目のトリガーとして“動き検出”、“ファン停止”、“ポジション”、“白黒→カラー”、“カラー→白黒”を選択した場合には、[条件1-2の間隔]項目③および[条件2]項目④は選択できません。</p>
<p>③ 条件 1-2 の間隔</p>	<p>1番目と2番目の両方のトリガーを指定した場合に有効です。1番目のトリガーと2番目のトリガーの最大間隔を指定します。1番目のトリガーが起ってから2番目のトリガーが起るまでの時間が最大間隔以内であれば、アクションを起こします。</p> <p>[設定値 : 1秒 ~ 3600秒]</p>
<p>④ 条件 2</p>	<p>[アクション]項目①で設定した動作を起こすための2番目のトリガーを指定します。</p> <p>[設定値 : 無効, 入力1メイク, 入力2メイク, 入力1ブレイク, 入力2ブレイク]</p>
<p>⑤ アクションポジション ナンバー</p>	<p>[アクション]項目①で“ポジション”を選択した場合に移動するポジションの番号を設定します。</p> <p>[設定値 : 0 ~ 99]</p>

⑥ 音声再生ファイル (VN-V686WPC のみ)	[アクション]項目①で“音声再生”を選択した場合に再生するファイルの番号を設定します。 [設定値：1～5]
⑦ トリガーポジション ナンバー	[条件1]項目②で“ポジション”を選択した場合にトリガーとなるポジションの番号を設定します。 [設定値：0～99]
⑧ メール送信	<p>メールアドレス : 受取人メールアドレスを入力します。</p> <p>メール送信データ : メール送信データを入力します。英数字の場合は、最大 127 文字です。日本語の場合は最大 63 文字です。</p> <p>画像添付 : メールに画像添付するかどうかを設定します。</p>
⑨ TCP/UDP 通知	<p>TCP/UDP IP アドレス : アラームアクションが TCP 通知または UDP 通知の場合のアドレスを入力します。(IP または FQDN)</p> <p>TCP/UDP ポート番号 : アラームアクションが TCP 通知または UDP 通知の場合のポート番号を入力します。(1-65535)</p> <p>TCP/UDP 通知データ : TCP または UDP 通知時の送信データを入力します。英数字の場合は、最大 127 文字です。日本語の場合は最大 63 文字です。</p>
⑩ アラーム出力持続 時間	<p>アラーム出力端子からのアラーム出力時間を設定します。 “0”に設定した場合には、メイク（またはブレイク）に切り換わった後にブレイク（またはメイク）へ戻りません。</p> <p>[設定値：0, 100 ミリ秒～5000 ミリ秒]</p>
⑪ アラーム動作適用 時間帯指定	<p>各曜日ごとにアラーム動作の有無を指定し、その時間帯を設定します。</p> <p>適用曜日 : 日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日</p> <p>アラーム動作 : 動作する時間帯を指定する : 停止する時間帯を指定する : 常に動作する : 常に停止する</p> <p>適用時間帯 : スタート時刻とエンド時刻を時、分で指定します。</p>

設定 (つづき)

アラーム環境ページ

アラームに関する環境を設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アラーム環境] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値に戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。

総合ビューワー
基本設定1
基本設定2

詳細設定
カメラ
エンコード
アラーム環境
PTZ
オートパターロール0
オートパターロール1
オートパターロール2
ブラウザフォーマット
動き検出
ネットワーク基本
ネットワーク詳細
プロトコル
手動配信
アクセス制限
時刻
パスワード
メンテナンス
その他
動作状況
履歴情報
ポジションリスト
パターロール情報0
パターロール情報1
パターロール情報2

クリック →

OK キャンセル 設定を変更してから10秒間はカメラの電源を切らないでください。

アラーム用メール

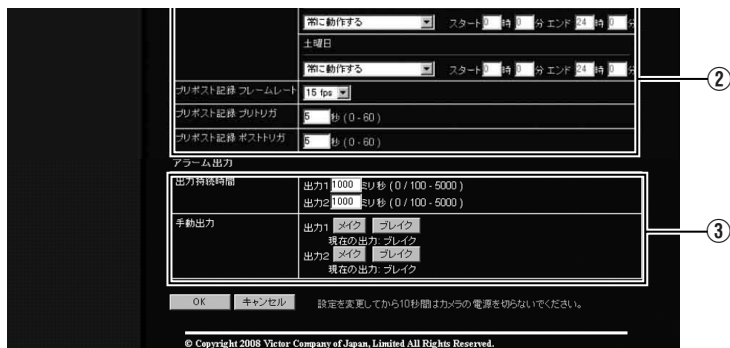
SMTP	
SMTPサーバー	0.0.0.0 (IPまたはFQDN)
ポート番号	25 (1 - 65535)
発出人メールアドレス	
POP before SMTP	無効
POP	
POPサーバー	0.0.0.0 (IPまたはFQDN)
ポート番号	110 (1 - 65535)
ユーザー名	
パスワード	***** (半角英数字と半角記号のみ)

アラーム用FTP

FTPサーバー	0.0.0.0 (IPまたはFQDN)
パス名	
ユーザー名	
パスワード	***** (半角英数字と半角記号のみ)
周期的FTP	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
周期的FTP 間隔	1 日 (1 - 65535)
周期的FTP 命名	<input checked="" type="radio"/> Auto (YYYYMMDDHHMMSS-NNN-2.jpg) Manual <input type="radio"/> 時刻付き (ユーザー定義の文字列YYYYMMDDHHMMSSNNN.jpg) <input type="radio"/> 固定 (ユーザー定義の文字列.jpg) ユーザー定義の文字列:
周期的FTP 時間帯指定	日曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分] 月曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分] 火曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分] 水曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分] 木曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分] 金曜日: 常に動作する [スタート] 時 [分] エンド 24 時 [分]

①

②



① アラーム用メール

[アラーム]ページの[アクション]項目①として“メール送信”を指定した場合の、メール環境を設定します。
 [SMTP]と[POP]が利用可能です。通常は、[SMTP]の設定のみ行なってください。
 [差出人メールアドレス]には、カメラ側のメールアドレスを入力してください。
 [POP before SMTP]を“有効”にする場合は、[POP]の設定も行なってください。
 また、[SMTP サーバー]などに“FQDN”を設定した場合は、
 [ネットワーク基本]ページの[DNS サーバー]の設定も行なってください。
 (P. 49 ページ)

メモ：

FQDN (Fully Qualified Domain Name) とは

完全修飾ドメイン名であり、TCP/IP のネットワークにおいて、ホスト名、ドメイン名を省略せずにすべて記述する表記方法のことを示します。
 例えば、ホスト名が“www”でドメイン名が“victor.co.jp”の場合、FQDN で表記すると“www.victor.co.jp”となります。FQDN に日本語は使用できません。

② アラーム用 FTP

[アラーム]ページの[アクション]項目①として“プリポスト記録+FTP”を指定した場合の、FTP 環境を設定します。本ページ中の周期的 FTP を使用する場合の FTP 環境と共通です。
 [パス名]を空欄にした場合には、FTP サーバーのホームディレクトリへ FTP 転送します。ホームディレクトリの下にあるディレクトリへ FTP 転送したい場合には、[パス名]にそのディレクトリ名を設定します。
 ディレクトリの区切りは“/”にしてください。

例：subdir1/subdir2

先頭に“/”を付けた場合、FTP 転送されるディレクトリがどこになるかは FTP サーバーに依存します。

[周期的 FTP]を“On”にすると、周期的に FTP サーバーへ最新の JPEG 画像を転送します。[間隔]は周期を秒で指定します。

ファイル名：周期的 FTP でのファイル名は 2 種類から選択できます。

“Auto”を選択すると、年月日時分秒、番号から生成されます。

例：20071114161032-001-2.jpg

“Manual”を選択すると、ファイル名生成方法を下記の中から選択できます。

- [ユーザー定義の文字列]に入力した文字列のみのファイル名

例：Camera1.jpg

- [ユーザー定義の文字列]に年月日時分秒と番号を付加したファイル名

例：Camera1_20071114161032001.jpg

プリポスト記録+FTP されるファイル名は、アクション番号、年月日時分秒、番号、トリガーフラグを組み合わせたものになります。

例：01-20070711152904-001-0.jpg

設定 (つづき)

アラーム環境ページ (つづき)

<p>② アラーム用 FTP (つづき)</p>	<p>最初の 2 桁はアクション番号、次の 14 桁は年月日時分秒を示します。ハイフンの後の 3 桁は、その FTP で送信される一連の JPEG ファイルの番号です。先頭は“000”です。最後の 1 桁はトリガーフラグで、トリガーが入った時点の JPEG ファイルのみ“1”に、それ以外では“0”になります。</p> <p>アラーム動作適用時間帯指定 : 各曜日ごとに周期的 FTP 転送動作の有無を指定し、その時間帯を設定します。</p> <p>適用曜日 : 日曜日, 月曜日, 火曜日, 水曜日, 木曜日, 金曜日, 土曜日</p> <p>アラーム動作 : 動作する時間帯を指定する 停止する時間帯を指定する 常に動作する 常に停止する</p> <p>適用時間帯 : スタート時刻とエンド時刻を時、分で指定します。</p> <p>プリポスト記録パラメータ: [プリポスト記録 フレームレート] : FTP 用プリポスト記録の JPEG フレームレートを設定します。</p> <p>[プリポスト記録 プリトリガー] : FTP 用プリ記録のトリガー時間 (アラーム入力前の記録時間) を秒で設定します。 [設定値: 0 秒 ~ 60 秒]</p> <p>[プリポスト記録 ポストトリガー] : FTP 用ポスト記録のトリガー時間 (アラーム入力後の記録時間) を秒で設定します。 [設定値: 0 秒 ~ 60 秒]</p> <p>[プリポスト記録 プリトリガー] と [プリポスト記録 ポストトリガー] の最大時間は、エンコードページの JPEG のサイズ設定および [プリポスト記録 フレームレート] により決まります。入力された値が実現できない組み合わせであった場合には、メッセージが表示されます。</p>
<p>③ アラーム出力</p>	<p>アラーム出力についての設定を行います。</p> <p>出力持続時間 [手動出力] の出力時間を設定します。 [設定値: 0, 100 ミリ秒 ~ 5000 ミリ秒]</p> <p>手動出力 アラーム出力を手動で操作します。 右側に現在の出力状態が表示されます。[出力持続時間] に“0”が設定されている場合、[メイク] をクリックするとアラームはメイク出力になり、[ブレイク] をクリックするとアラームはブレイク出力になります。 [出力持続時間] に“0”以外の値が設定されている場合に [メイク] をクリックすると、出力持続時間の時間だけアラームはメイク出力になり、その後にはブレイク出力になります。 出力持続時間に“0”以外の値が設定されている場合に [ブレイク] をクリックすると、出力持続時間の時間だけアラームはブレイク出力になり、その後にはメイク出力になります。</p>

PTZ ページ

オートリターン、自動追尾、インテリジェント追尾、プリセットポジション移動、オートフリップの設定をします。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [PTZ] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。

The screenshot shows the PTZ settings page with the following settings highlighted by numbered callouts:

- ① オートリターン モード: 無効
- ② 自動追尾 / インテリジェント追尾 リスタート時間: 0分
- ③ インテリジェント追尾 追尾ズーム連動: On
- ④ リミット 電子ズームリミット: 1
- ⑤ プリセットポジション移動 スピード: 4
- ⑥ オートフリップ オートフリップ: Off

On the left side, the 'PTZ' menu item is highlighted with a red box and the word 'クリック' (Click) next to it.

① オートリターン	マニュアル操作したカメラを“リターン時間”で設定した期間操作しないとカメラが自動的に“モード”で設定した状態に戻ります。
モード	<p>オートリターン後の動作を設定します。</p> <p>無効 : オートリターン動作しません。</p> <p>ホーム : ホームポジションに戻ります。</p> <p>オートパン : オートパン動作に戻ります。</p> <p>オートパトロール : オートパトロール動作に戻ります。</p> <p>オートトレース : オートトレース動作に戻ります。</p> <p>自動追尾 : 自動追尾動作に戻ります。</p> <p>インテリジェント追尾 : インテリジェント追尾動作に戻ります。</p>

設定 (つづき)

PTZ ページ (つづき)

① オートリターン (つづき)	
リターン時間	<p>オートリターンで動作を戻すまでの時間を設定します。 [設定値：1分, 2分, 3分, 5分, 10分, 20分, 30分, 60分]</p> <p>ご注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [モード]項目が“インテリジェント追尾”に設定されている場合、リターン時間経過後にホームポジションへ戻り、追尾対象の検出からやり直します。インテリジェント追尾動作中、被写体をとらえていてもPTZ動作しない場合があります。PTZ動作しない状態が“リターン時間”で設定された時間続くと[オートリターン]の[モード]項目で設定した動作を開始します。
テスト	[実行]をクリックすると、設定したオートリターン動作をテスト実行します。
② 自動追尾/インテリジェント追尾	
	<p>自動追尾とインテリジェント追尾に関する設定を行います。</p> <p>自動追尾：オートリターン開始時にホームポジションへ移動します。ホームポジションで映像に動きがあった場合、被写体を自動的に追いかけて撮影します。ズーム倍率は1倍固定です。</p> <p>インテリジェント追尾</p> <p>：インテリジェント追尾には、オートリターンから始まるオートモードとビューワー上でターゲットを指定するマニュアルモードがあります。</p> <p>“追尾中”もしくは“消失中”にビューワーの表示領域をクリックすることで、追尾対象を何度でも変更できます。終了するには[PTZ制御]画面の[停止]をクリックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オートモード ホームポジションで映像に動きがあった被写体の色情報を感知し、自動的にパン/チルト/ズームしながら被写体を追いかけて撮影します。動きを検出する前にビューワー画面上をクリックしマニュアル指定することもできます。 ● マニュアルモード (85 ページ) [PTZ制御]画面の[オート機能]項目で[インテリジェント追尾]を選択し、[開始]をクリックすると“待機中”になります。ビューワー画面上をクリックするとターゲットが指定され、自動的にパン/チルト/ズームしながら被写体を追いかけて撮影します。

② 自動追尾 / インテリジェント追尾 (つづき)	<p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下記の条件では、自動追尾が困難な場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 同一画面に複数の移動する物体が存在する ● 画面内に点滅する光源などちらつきがある ● 移動する物体の速度が速いまたは遅い ● 移動する物体が大きいまたは小さい ● 被写体のコントラストがない ● 下記の条件では、インテリジェント追尾が困難な場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ● 逆光が強い ● 同一画面に追尾対象に類似した色がある ● 追尾対象に色が付いていない (白、灰色、黒など) ● 追尾対象がプライバシーマスク領域に移動する ● 下記の条件では、インテリジェント追尾を開始できません。 <ul style="list-style-type: none"> ● [白黒モード]項目が“白黒”に設定されている (☞ 25 ページ) ● [白黒モード]項目が“オート”に設定されており、白黒状態である (☞ 25 ページ) ● [オートフリップ]項目 ⑥ が“デジタルフリップ”に設定されている (☞ 42 ページ) ● 動き検出の全エリアがマスクされている (マニュアルモードは開始できません。)(☞ 47 ページ) ● ズーム倍率が 20 倍を超えている (オートリターンから始まるインテリジェント追尾の場合、ホームポジションのズーム倍率が 20 倍を越えている) ● 映像が暗い場合、[電子感度アップ] (☞ 24 ページ) によって改善しますが、反応が遅くなる場合があります。 <p>ご注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の自動追尾機能は、明るさの変化を検知して行なっています。そのため、照明の変化で動き検出したり、背景色と同色の物体は動き検出しません場合があります。また、非常にゆっくり動く物体についても検出しにくくなります。事前に運用条件を十分確認の上、誤動作や検出漏れがないように設定してください。 ● 本機能は、[スタビライザ]項目を“Off”に設定したときのホームポジション画面に対して機能します。[スタビライザ]項目を“On”に設定した場合、画面が拡大表示されるため映っていない画面の動きにも反応する場合がありますが、本機の仕様であり故障ではありません。
リスタート時間	<p>自動追尾 : 自動追尾開始後、映像に動きがなくなってから、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。</p> <p>インテリジェント追尾 : インテリジェント追尾で被写体を見失ってから、[リスタート時間]経過後、ホームポジションへ戻すことができます。インテリジェント追尾の場合、映像に動きがなくなっても、被写体をとらえている間はホームポジションに戻りません。</p> <p>[設定値 : Off, 10 秒, 20 秒, 30 秒, 40 秒, 50 秒, 60 秒, 120 秒]</p> <p>ご注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [オートリターン]①の[モード]項目が“自動追尾”の場合、[リターン時間]のほうが[自動追尾]②の[リスタート時間]よりも短く設定されていると、[リターン時間]に従って動作します。
自動追尾検出レベル	<p>自動追尾 / インテリジェント追尾の検出感度の設定をします。</p> <p>感度を下げる → 数を小さく 感度を上げる → 数を大きく</p> <p>[設定値 : 0 ~ 10]</p>

設定 (つづき)

PTZ ページ (つづき)

③ インテリジェント 追尾	[インテリジェント追尾]のズームに関する設定を行います。
追尾ズーム連動	“On”にした場合、被写体の動きに合わせてズームが変化します。
追尾ズームリ ミット	<p>[追尾ズーム連動]が“On”の場合に、ズーム倍率の限界値を設定します。インテリジェント追尾を開始した際に現在のズーム倍率が[追尾ズームリミット]を超えていても、ズーム倍率が20倍以内であれば追尾動作が可能です。その場合は[追尾ズーム連動]項目の設定によって下記のように動きが変わります。</p> <p>[追尾ズーム連動]が“On”</p> <p>：現在のズーム倍率で追尾を開始します。 追尾ズームリミットを超えている間は広角方向へ動きませんが望遠方向には動きません。一度追尾ズームリミット内に入った後は設定された追尾ズームリミット内でズームします。</p> <p>[追尾ズーム連動]が“Off”</p> <p>：現在のズーム倍率のまま追尾します。ズーム倍率は変化しません。</p>
④ リミット	
電子ズームリ ミット	<p>ズームレンズをTele(望遠)側にすると、光学ズームが機能しその後電子ズームが機能します。この電子ズーム機能の最大値を設定します。</p> <p>[設定値：Off, 1, 2, 4, 8, 16, 32]</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電子ズームは映像をデジタル処理するため、多少映像品質が劣化します。 ● 電子ズームの倍率を上げていくと画面中心が左上方向にずれますが、これは本機の特性であり故障ではありません。 ● 光学ズームから電子ズームへ連続動作はしません。光学ズームがTele端にきたら、[PTZ制御]で[ズーム]の[+]をクリックし直してください。 [PTZ制御] (☞85 ページ)
パンリミット	<p>“On”にした場合、マニュアル操作時のパン(水平)動作の可動範囲を設定します。“Off”を選択した場合は無効です。</p> <p>[左端設定]、[右端設定]</p> <p>：クリックすると現在の位置が左端や右端に設定されます。</p> <p>[左端移動]、[右端移動]</p> <p>：クリックすると設定されている左端や右端に移動します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プリセットポジション、オートパン動作、オートトレース動作には影響しません。

④ リミット(つづき)

パンリミット
(つづき)

■ パンリミットの基本動作

[パンリミット]を“On”に設定すると、有効領域のみパン操作できます。
[パンリミット]より優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでパン操作すると、下記のように動作します。

メモ：――

- 有効領域に入るまで、禁止領域内でも自由にパン操作できます。
- 一度有効領域に入るとその後はマ[パンリミット]の設定に従い、有効領域のみのパン操作になります。

● パンリミットより優先される動作

下記動作は、[パンリミット]で設定した禁止領域に関係なく動作します。

- オートパン動作
- オートトレース動作
- プリセットポジション移動
- オートフリップ動作
- 自動追尾動作

● パンリミットより優先される設定

下記メニューの設定は、パン動作をとまいませんが、[パンリミット]が“On”に設定されていても、禁止領域に関係なく設定できます。

- プライバシーマスク設定
- オートパン設定

メモ：――

- オートトレース設定、プリセットポジション設定は、設定時に[パンリミット]設定が“On”になっている場合、禁止領域ではパン操作できません。
- ただし、オートトレース動作とプリセットポジション移動は、マニュアルパンリミットより優先される動作なので、マニュアルパンリミット設定の前にオートトレース設定または、プリセットポジション設定を行い、その後マニュアルパンリミット設定を行なっても、禁止領域に関係なく動作します。

チルトリミット

マニュアル操作時のチルト(垂直)動作の可動範囲を設定します。
10度を設定した場合チルト動作の可動範囲は10度から90度になり、-5度から9度の間の操作ができなくなります。
[オートフリップ]項目⑥が“デジタルフリップ”に設定されている場合には、180度の側にもチルトリミットが適用されます。

[設定値：-5度～10度]

[設定値：-30度～10度] (VN-V686WPCのみ)

メモ：――

- チルトリミットより優先される動作で、禁止領域内に移動した場合、その後マニュアルでチルト操作すると下記のように動作します。
- 禁止領域内ではチルト操作ができず、強制的にチルトが有効領域内に移動されます。
- 一度有効領域に入ると、その後はチルトリミット設定に従い、有効領域のみでのチルト操作になります。
- プリセットポジション、オートパン動作、オートトレース動作には影響しません。

設定 (つづき)

PTZ ページ (つづき)

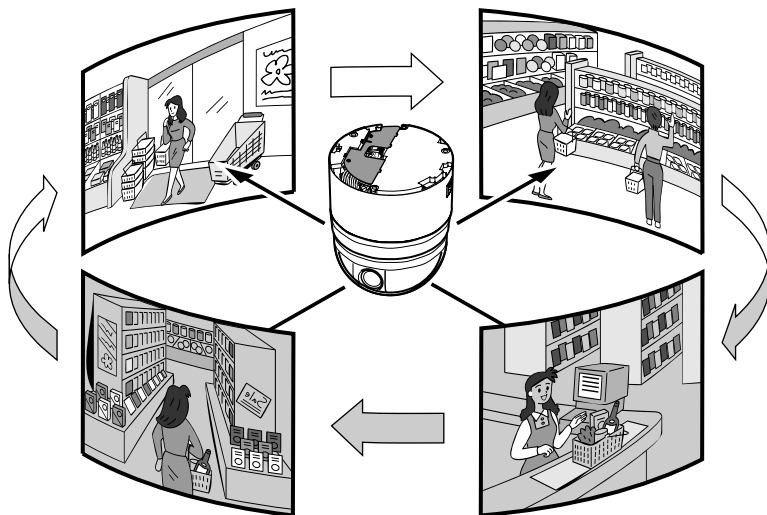
<p>⑤ プリセットポジション移動</p> <p>スピード</p>	<p>プリセットポジションへの移動速度を設定します。オートパトロールでのプリセットポジション移動にも適用されます。</p> <p>[設定値：1～4]</p>
<p>⑥ オートフリップ</p>	<p>カメラの真下を通る被写体を撮影するときに設定します。カメラは垂直回転動作をすると真下を向いて停止し、被写体がカメラの真下を通過する場合は、下記の操作が必要となります。</p> <p>①カメラを真下に向ける ②カメラを水平に 180° 回転させる ③カメラを上に向ける</p> <p>[オートフリップ] 機能を使うと、これらを自動で行うことができます。</p> <p>Off : オートフリップ機能は動作しません。 デジタルフリップ (VN-V686WPC には、この機能はありません) : カメラが真下を過ぎ 135° の位置で、映像の上下左右が反転します。</p> <p>モード 1 : カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、止まります。その場合に、カメラの動作方向とパン/チルト操作の方向が一致します。</p> <p>モード 2 : カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、カメラの動作方向とチルト操作の方向が逆になります。連続して操作したい場合に設定してください。一度操作を停止すると、動作方向は通常に戻ります。</p> <p>モード 3 : カメラが真下の位置にくると 180° 水平回転し、カメラの動作方向とチルト操作の方向が逆になりますが、操作停止後 10 秒以上経過すると、動作方向は通常に戻ります。</p> <p>[設定値：Off, デジタルフリップ, モード 1, モード 2, モード 3] [設定値：Off, モード 1, モード 2, モード 3] (VN-V686WPC のみ)</p> <p>メモ：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “デジタルフリップ” に設定した場合、[インテリジェント追尾] は無効となります。(☞ 40 ページ) ● “モード 1”、“モード 2”、“モード 3” でフリップする際の回転速度は、[プリセットポジション移動] 項目 ⑤ の [スピード] の設定値が反映されます。“モード 1”、“モード 2”、“モード 3” で高速フリップさせるには、[プリセットポジション移動] 項目 ⑤ の [スピード] を “4” に設定してください。 <p>ご注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [オートフリップ] が “Off” 以外の場合、チルト操作によりパンリミット外の領域へ移動できます。“デジタルフリップ” の場合、再びパンリミット内へ戻るにはチルト操作でフリップさせてください。“モード 1”、“モード 2”、“モード 3” のフリップの場合、パン操作でパンリミット内へ移動すると、パンリミット位置で停止します。

オートパトロールページ

設定時間の間隔で複数のポジションの映像を切り換えて表示するオートパトロール動作の設定を行います。決められたポジションを順番に見たい場合に設定します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

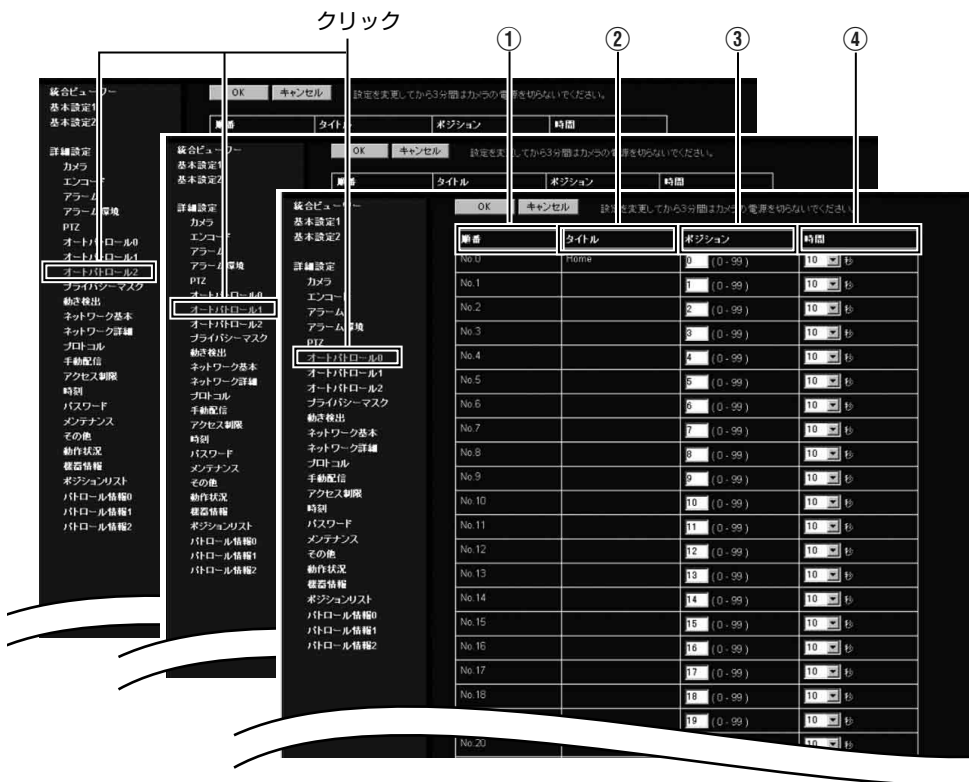
- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [オートパトロール 0]、[オートパトロール 1]、[オートパトロール 2] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。



設定 (つづき)

オートパトロールページ (つづき)

オートパトロールには 3 つの画面があります。



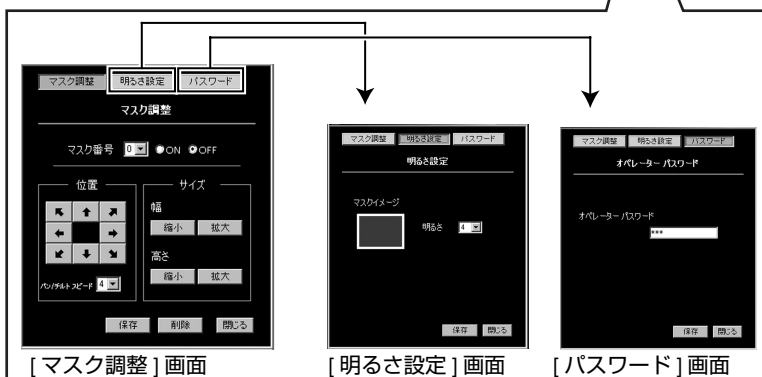
① 順番	No 0~No 99 の順番でカメラの映像が切り換わります。
② タイトル	ポジションのタイトルが表示されます。
③ ポジション	順番に移動するポジション番号を設定します。 [設定値：0~99]
④ 時間	各ポジションの映像を表示する時間を設定します。 [設定値：Skip, 10 秒, 20 秒, 30 秒, 45 秒, 60 秒, 120 秒]

プライバシーマスクページ

プライバシーマスクは、映像の一部を見えないようにする機能です。
本機では、四角形のプライバシーマスクを 8 個設定することができます。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [プライバシーマスク] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。



① プライバシーマスク

プライバシーマスク機能を動かせるかどうかを設定します。
“On” に設定すると、以下の項目で設定したプライバシーマスクが画面上に表示されます。

メモ：

- プライバシーマスクを設定すると、ズームはワイド端になり、“デジタルフリップ”は“Off”になります。

設定 (つづき)

プライバシーマスクページ (つづき)

② マスク調整

マスクの調整を行います。クリックすると、[マスク調整]画面が別画面で表示されます。

設定を変更する場合、まず[パスワード]画面で[オペレータパスワード]を入力してから設定を変更します。(☞ 14 ページ)
すでに統合ビューワーの設定で[オペレータパスワード]を入力済みの場合は、入力された状態(●●●●●と表示)で表示されます。

■ [マスク調整]画面



① [マスク調整],[明るさ設定],[パスワード]それぞれ別画面で設定画面が開きます。

② [マスク番号]
“Off”を選択すると、画面上にマスクが表示されません。
[設定値: 0 ~ 7]

③ [サイズ]
マスクのサイズを設定します。
マスクの縦、横をそれぞれ[拡大],[縮小]で設定します。

⑤ [保存]
変更した設定を保存します。
[削除]
指定したマスク番号のプライバシーマスクを削除します。

④ [位置]
マスクをかける位置を設定します。移動速度は[パン/チルトスピード]で設定します。
[設定値: 1 ~ 8]

■ [明るさ設定]画面

マスクの明るさ(色)を設定します。

“0”が黒色となり、数字が大きくなることに白に近くなります。“10”で白色となります。[マスクイメージ]で色を確認できます。

[設定値: 0 ~ 10]

■ [パスワード]画面

“オペレータパスワード”を入力します。(☞ 14 ページ)

ご注意:

- マスクを設定できるチルト角度は水平から 40° 以内です。
- マスクの位置を調整する際に、チルト角が水平の限界まで達した後、一度矢印を離し再度クリックすると、プライバシーマスクだけが上方へ移動します。これによって、水平よりも上方の領域にプライバシーマスクを設定することができます。
- マスクは設定時よりも大きめに表示されます。カメラの向きやズームによっては隠したい部分がはみ出ず場合があります、その場合にはあらかじめ大きめに設定してください。
- 工場出荷時のホームポジションはプライバシーマスクの範囲外です。
- マスク調整ウィンドウをパソコンで初めて開いた場合、パソコンに ActiveX がインストールされます。

動き検出ページ

動き検出を設定するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- カメラがホームポジションのときのみ有効です。
- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [動き検出] をクリックしてください。
- 動き検出有効エリアが青く表示されます。
- 動きを検出したエリアが赤く表示されます。
- 設定したマスクの情報は、オートリターンから始まるインテリジェント追尾の追尾対象検出にも適用されます。(☞ 38 ページ)



設定 (つづき)

動き検出ページ (つづき)

① 表示画面	横 12x 縦 8 のブロックに分割されており、ブロックごとにマスクするかどうか設定できます。 工場出荷時にはすべてのブロックがマスクされています。 ブロックをクリックすると青く表示され、マスクがはずれます。もう一度クリックするとマスク状態に戻ります。 [OK] をクリックすることで有効になります。 [全てマスク] をクリックすることですべてのブロックがマスク状態になります。 [マスク解除] をクリックすることですべてのブロックがマスクを解除されます。
② 動き検出	[動き検出] の On/Off を設定します。 [OK] をクリックすることで有効になります。 [自動追尾 / インテリジェント追尾] (☞38 ページ) を実行すると [動き検出] は “Off” に設定されます。
③ OK/ キャンセル	変更したパラメーターを反映させる場合に [OK] をクリックします。 [キャンセル] をクリックすると、変更が取り消されます。
④ 検出感度	動き検出の感度を設定します。 数字が大きいくほど検出感度があり、敏感になります。 [OK] をクリックすることで有効になります。
⑤ 全てマスク	すべてのブロックをマスクします。 [OK] をクリックすることで有効になります。
⑥ マスク解除	すべてのブロックのマスクを解除します。 [OK] をクリックすることで有効になります。

メモ:

- エリア表示位置はめやすです。必ず動作確認を行なってください。
- 一画面は 96 (横 12 × 縦 8) ブロックに分割されています。動き検出をする被写体の大きさが複数ブロック以上となるように、画角を設定してください。
- [スタビライザ] が “On” に設定されている場合、映像が 1.3 倍にズームされるので、動き検出表示画面に表示されるブロック数は横 8x 縦 6 になります。[スタビライザ] (☞23 ページ)

ご注意:

- 蛍光灯などのフリッカにより動き検出の誤動作が発生する場合があります。
- 照明により明るさが変化する場合、動きとして検出される場合があります。
- 動き検出は盗難、火災などを防止するためのものではありません。また、被写体条件や設定条件によっては正しく動作しない場合があります。
万一発生した事故や損害に対する責任は、一切負いません。
- 他のクライアントが本機から画像を取得していると、本機の配信上限により [動き検出] ページに映像が表示されない場合があります。[動き検出] ページを利用する際には、他のクライアントを停止させてください。

ネットワーク基本ページ

ネットワークの基本的な設定をするページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ネットワーク基本] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。
- [ネットワーク基本] ページの設定を変更すると、その時点で動作していたすべてのサービスは終了します。例えば JPEG/MPEG4 を配信中に [ネットワーク基本] ページの設定を変更すると、配信は止まり TCP は切断されます。



① IP 設定	DHCP クライアント機能を設定します。 DHCP を有効に設定する場合は、DHCP サーバーのあるネットワーク環境にカメラを接続してください。 [IP 設定] 項目を“DHCP”に設定し、DHCP サーバーが存在しない場合、起動から約 2 分後にカメラは IP アドレス 192.168.0.2、サブネットマスク 255.255.255.0 で起動します。 IP アドレスについては、[IP アドレスの設定] (p.6 ページ) をご覧ください。
② IP アドレス	カメラの IP アドレスを設定します。
③ サブネットマスク	カメラのサブネットマスクを設定します。
④ デフォルトゲートウェイ	カメラのデフォルトゲートウェイを設定します。 デフォルトゲートウェイを設定しない場合には、“0.0.0.0”を設定してください。
⑤ ホスト名	カメラのホスト名を設定します。 英数字、ハイフン (-)、ピリオド (.) が使用できます。アンダースコア (_) は使用できません。
⑥ DNS サーバー	DNS サーバーのアドレスを設定します。
⑦ MAC アドレス	カメラの MAC アドレスが 16 進数で表示されます。
⑧ IP プロトコル	IPv6 の On/Off を選択します。(IPv4 は常にオンです。)IPv6 に対応したネットワークで IPv6 をオンにすると、[IPv6 アドレス] の欄にアドレスが表示されます。ネットワークが IPv6 に対応していない場合には、[IPv6 アドレス] の欄に“Disable”と表示されます。この項目を変更した場合、カメラは再起動します。約 1 分後に操作可能になります。
⑨ IPv6 アドレス	IPv6 のアドレスが表示されます。

設定 (つづき)

ネットワーク詳細ページ

ネットワークの詳細な設定をするページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ネットワーク詳細] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。



JPEG	
① TOS (DS field)	JPEG を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。8 ビットで構成される TOS 値のうち、上位 6 ビットが DSCP です。この上位 6 ビットを設定することができます。下位 2 ビットは “0” となります。例えば、“252” に設定すると、下位 2 ビットが “0” に変換され、“252” となります。TOS 値は優先制御に対応したネットワークで使用されます。ネットワークスイッチに優先制御を設定することによって、TOS 値が大きいパケットを優先してルーティングすることができます。
MPEG4	
② TOS (DS field)	MPEG4 を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。詳細は、上記 [JPEG TOS (DS field)] 項目 ① を参照してください。
音声 (VN-V686WPC のみ)	
③ Audio TOS (DS field)	音声を格納した IP パケットの TOS 値を設定します。詳細は、上記 [JPEG TOS (DS field)] ① 項目を参照してください。
共通	
④ TTL (ユニキャスト)	TCP で送信する JPEG/MPEG4 パケットの TTL 値を設定します。
⑤ TTL (マルチキャスト)	マルチキャストで送信する JPEG/MPEG4 パケットの TTL 値を設定します。
⑥ MTU	JPEG/MPEG4 を格納するパケットの最大サイズを設定します。 [設定値: 1280 ~ 1500]
⑦ ネゴシエーション	ネットワークのネゴシエーションを設定します。“Auto” 以外を選択した場合は、接続する相手のネットワーク機器を “Auto” にせず、カメラと同じ設定にしてください。

プロトコルページ

HTTP サーバーポート番号と VSIP サーバーに関する設定を変更するページです。
“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [プロトコル] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 変更後 Internet Explorer で接続する場合は、再接続が必要です。

プロトコル設定	プロトコルについての設定をします。
① HTTP サーバーポート	カメラが内蔵している Web サーバーのポート番号を変更することができます。 (1 ~ 65535 : 工場出荷時は 80 番) JPEG/MPEG4/ 音声を要求する HTTP のポート番号も変更されます。 Internet Explorer からカメラへアクセスする場合、工場出荷状態では次のように Internet Explorer へ入力します。 http : //192.168.0.2 しかし、例えばポート番号を 8080 番に変更した場合は、次のように Internet Explorer へ入力します。 http : //192.168.0.2 : 8080
② VSIP プロトコル	VSIP プロトコルの On/Off を変更することができます。 Verint 社の Nextiva からカメラを使用したい場合は “On” にしてください。
③ VSIP サーバーポート	カメラが内蔵している VSIP サーバーポート番号を変更することができます。 (1~65535 : 工場出荷時は 5510 番)
④ AMX デバイス発見プロトコル	AMX デバイス発見プロトコルの On/Off を変更することができます。 AMX 社のシステムでカメラを使用する場合は “On” にしてください。 [設定値 : On, Off]
JPEG 配信	JPEG 画像配信の優先度を選択します。
⑤ モード	JPEG 画像配信のクライアント数とフレームレートのどちらを優先するかを選択します。 クライアント数優先 : 配信クライアント数を優先します。(☞ 4 ページ) 配信要求が増えると配信する JPEG のフレームレートを低くし、最大 20 クライアントまで配信が可能になります。 フレームレート優先 : フレームレートを優先します。(☞ 4 ページ) クライアントから要求された JPEG のフレームレートを維持したい場合に設定します。最大配信数を超過して配信要求を行った場合、要求を受け付けません。

メモ :

- 統合ビューワーで再生する場合、統合ビューワーの設定画面にある [HTTP ポート] の番号も同じ値に変更してください。(☞ 91 ページ)(☞ 93 ページ)

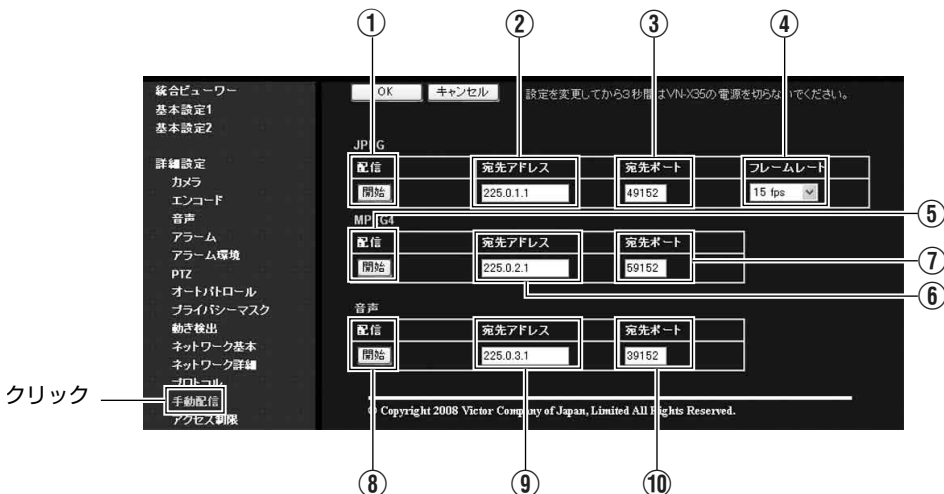
設定 (つづき)

手動配信ページ

手動でマルチキャスト送信するページです。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [手動配信] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。



JPEG	
① 配信	JPEG 画像のストリームの開始、停止を行います。 [開始] をクリックすることにより送信を開始させた時点で、[手動配信] ページに設定されたパラメーターは保存されます。
② 宛先アドレス	JPEG 配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
③ 宛先ポート	JPEG 配信の宛先ポート番号を指定します。 RTP 準拠のため、偶数で指定します。 他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。
④ フレームレート	JPEG 画像をマルチキャスト送信する場合の送信フレームレートを指定します。

MPEG4	
⑤ 配信	MPEG4 画像のストリームの開始、停止を行います。 [開始]をクリックすることにより送信を開始させた時点で、[手動配信]ページに設定されたパラメーターは保存されます。
⑥ 宛先アドレス	MPEG4 配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
⑦ 宛先ポート	MPEG4 配信の宛先ポート番号を指定します。 RTP 準拠のため、偶数で指定します。 他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。
音声 (VN-V686WPC のみ)	
⑧ 配信	音声のストリームの開始、停止を行います。 [開始]をクリックすることにより送信を開始させた時点で、[手動配信]ページに設定されたパラメーターは保存されます。
⑨ 宛先アドレス	音声配信の宛先アドレスを指定します。 マルチキャストアドレスを指定してください。他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるマルチキャストアドレスになるように設定してください。
⑩ 宛先ポート	音声配信の宛先ポート番号を指定します。 RTP 準拠のため、偶数で指定します。 他にもマルチキャストを送信する機器がある場合には、互いに異なるポート番号になるよう設定することを推奨します。 ポート番号が重複している場合、1 台のパソコンで複数のマルチキャストを受信できなくなります。

メモ：

- マルチキャストを送信中にカメラの電源が落とされた場合、カメラは再起動後にマルチキャスト送信を自動で再開します。

設定 (つづき)

アクセス制限ページ

(音声に関する機能は VN-V686WPC のみ)

クライアントの制限を設定するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [アクセス制限] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値に戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。
- 本機能の対象は JPEG/MPEG4/ 音声取得です。Web ブラウザによるアクセスや API の使用は、本機能によって制限されません。

ご注意:

- アクセス制限機能は、クライアントが TCP 接続した際に制限するかどうか判断します。すでに TCP 接続しているクライアントに対し、後からアクセス制限を設定しても、TCP 接続は切断されません。

統合ビューワー

基本設定1
基本設定2

詳細設定

カメラ
エンコード
アラーム
アラーム環境
PIZ
オートリセット0
オートリセット1
オートリセット2
プライバシーマスク
動き検出
ネットワーク基本
ネットワーク詳細
プロトコル
毛刺除去

時刻

パスワード
メンテナンス
その他
動作状況
履歴情報
ボジションリスト
リセット情報0
リセット情報1
リセット情報2

OK キャンセル 設定を変更してから30秒間はカメラの電源を切らないでください。

優先アドレス

アクセス制限 登録先を禁止

IPアドレス		

© Copyright 2008 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

クリック

①

②

宛先アドレス	カメラへアクセスするクライアントを IP アドレスで制限できます。
① アクセス制限	“登録先を禁止”を選択した場合には、[IP アドレス]項目②で指定した IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声取得要求を受け付けません。なお Web 設定ページへのアクセスは制限されません。 “登録先を許可”を選択した場合には、[IP アドレス]項目②で指定した IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声取得要求を受け付けます。なお Web 設定ページへのアクセスは制限されません。
② IP アドレス	マルチキャストアドレスを指定し“登録先を禁止”を選択した場合には、カメラはそのマルチキャストアドレスへの送信要求を受け付けません。マルチキャストアドレスを指定し“登録先を許可”を選択した場合には、カメラはそのマルチキャストアドレスへの送信要求を受け付け、[IP アドレス]項目②に記述されていないマルチキャストアドレスへの送信要求は受け付けません。

ご注意:

- “登録先を許可”を選択し、すべての IP アドレスの項目を空欄にした場合、すべての IP アドレスからの JPEG/MPEG4/ 音声取得要求を受け付けません。ただし Web 設定ページへのアクセスは制限されません。
また指定された IP アドレスへの送信を API で指示された場合も、カメラは受け付けません。

メモ:

- ある範囲の IP アドレスを指定したい場合、IP アドレスとサブネットマスクの組み合わせによる表記を [IP アドレス] 項目②に記述します。
- サブネットマスクは 8～30 のビット長で表記します。
例えば 192.168.0.0 から 192.168.0.255 を指定する場合、192.168.0.0/24([IP アドレス]/[サブネットマスク長]) となります。

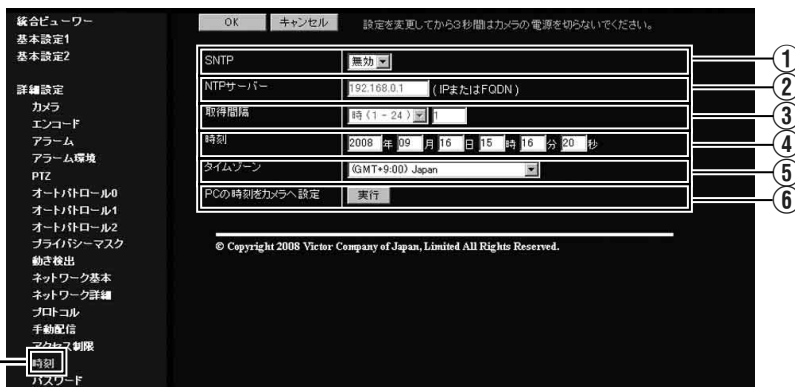
設定 (つづき)

時刻ページ

時刻を設定するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [時刻] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。
- 無効な値を入力して [OK] をクリックすると警告メッセージが表示され受け付けません。無効な値を現在の値へ戻したい場合には、[キャンセル] をクリックしてください。



クリック

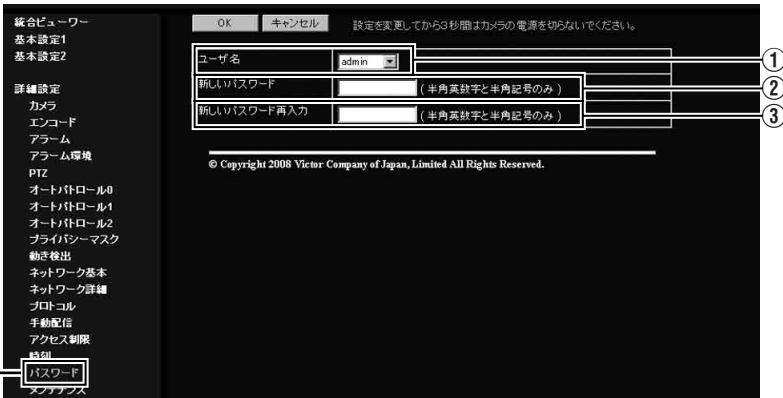
① SNTP	SNTP クライアント機能を設定します。 “有効” にすると、指定された NTP サーバーへ定期的にアクセスし、時刻を取得します。 なおカメラが配信する JPEG ヘッダーには時刻が記録されています。NTP サーバーから時刻を取得する直前と直後で、JPEG ヘッダーにある時刻が不連続となる可能性があります。
② NTP サーバー	NTP サーバーの IP アドレスを設定します。
③ 取得間隔	NTP サーバーへアクセスする時間間隔を設定します。
④ 時刻	カメラが持つ時計の時刻を表示しています。 値を入力することで時計の時刻を変更できます。(秒は設定できません。) なおカメラが配信する JPEG ヘッダーには時刻が記録されています。時刻を変更する直前と直後で、JPEG ヘッダーにある時刻が不連続となります。
⑤ タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
⑥ PC の時刻をカメラへ設定	[実行] をクリックすると、ご使用のパソコンの時刻をカメラに取り込むことができます。

パスワードページ

パスワードを変更するページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [パスワード] をクリックしてください。
- 変更した設定を有効にするためには、[OK] をクリックしてください。



① ユーザー名	ユーザー名を選択します。
② 新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。 パスワードは、8文字以下（空欄は使用不可）を受け付けます。 カメラは大文字と小文字を区別します。
③ 新しいパスワード再入力	確認のため新しいパスワードをもう一度入力します。

ご注意:

- パスワードを忘れないよう、十分な管理を行なってください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ビクターサービス窓口にご相談ください。

設定 (つづき)

メンテナンスページ

メンテナンスのためのページです。

“admin” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [メンテナンス] をクリックしてください。

総合ビューワー
基本設定1
基本設定2

詳細設定
カメラ
エンコード
アラーム
アラーム環境
PIZ
オートリロール0
オートリロール1
オートリロール2
ブライバシマスク
動き検出
ネットワーク基本
ネットワーク詳細
プロトコル
手動配信
アクセス制限
時刻
バックロード

メンテナンス

その他
動作状況
履歴情報
ボタジョブリスト
リロール情報0
リロール情報1
リロール情報2

メンテナンス

再起動

再起動

工場出荷時設定

全て工場出荷時の設定に戻す

アップデート

ネットワーク処理部
機構制御部
映像処理部

バージョン

ネットワーク処理部: 0.02
機構制御部: 0.01
映像処理部: ES-95

オートクリーニング

オートクリーニング時刻

更新 キャンセル

アップロード中にカメラの電源を切らないでください。
アップロードを開始する前に、本ページ以外(ビューワーなど)からカメラへのアクセスを終了して下さい。

© Copyright 2008 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved

① 再起動	カメラを再起動します。(再起動には約 1 分かかります)
② 工場出荷時設定 [全て工場出荷時の設定に戻す]	すべての設定項目を工場出荷値に戻し再起動します。(初期化、および再起動には約 1 分かかります) パスワードも初期化されます。なおカメラ内蔵の時計は影響を受けません。JPEG/MPEG4 送信などのサービスが行われていた場合には、すべてのサービスが停止されます。
③ アップデート	カメラのファームウェアをアップデートし再起動します。 [ネットワーク処理部]、[機構制御部]、[映像処理部]の3つからアップデートする対象を選択してください。 カメラの設定内容は保存されます。Internet Explorer を使用しているパソコンに新しいファームウェアのファイルをコピーし、[参照...]を使ってそのファイルを指定してください。[実行]をクリックするとアップデートを開始します。JPEG/MPEG4 送信などのサービスが行われていた場合には、すべてのサービスが停止されます。アップデートには数分かかります。アップデートが成功すると Internet Explorer にメッセージが表示されます。 ご注意： <ul style="list-style-type: none"> ● アップデート中あるいはアップデート後の起動中は電源を切らないでください。電源を切ってしまうと、故障の原因となる場合があります。 ● アップデートを開始する前に、本ページ以外（ビューワーなど）からの本機へのアクセスを終了してください。本ページ以外のアクセスが有効のまま、アップデートを開始すると、本ページのアクセスが切れる場合があります。その場合は、本ページ以外のアクセスを終了し、再度、本ページにアクセスしてアップデートをやり直してください。
④ オートクリーニング	電源や信号の伝達を行う部品のクリーニングを自動で行うかどうかの設定をします。 ご注意： <ul style="list-style-type: none"> ● パンの位置が停止したまま 7 日間以上経過すると、指定された時刻にパン動作し、自動的にクリーニングを行います。
⑤ オートクリーニング時刻	クリーニングの実施時刻を設定します。 変更する場合は、時刻を入力し、[更新]をクリックします。 [設定値：0-23 時、0-59 分]

設定 (つづき)

各ページの工場出荷値一覧表

■ カメラページ (P. 21 ページ)

項目	工場出荷値
カメラ ID	“VN-V685” (VN-V685 の場合) “VN-V686” (VN-V686B/ VN-V686WPB/ VN-V686WPC の場合)
モニタータイプ	カスタム
ブラックレベル	1
ガンマ	1
アクティブガンマレベル	0
エンハンス帯域	High
エンハンスレベル	0
カラーレベル	0
スタビライザ	Off
スタビライザレベル	中
3次元ノイズリダクション	Mid
AGC	Super
電子感度アップ	Off
ALC モード	動き優先
シャッタースピード	1/60
白黒モード	カラー
IR プリセット AF	Off
照明	通常

■ エンコードページ (P. 26 ページ)

項目	工場出荷値
JPEG フレームサイズ	VGA
MPEG4 フレームサイズ	VGA
JPEG 画質	VFS4
MPEG4 ビットレート	2000 kbps
MPEG4 符号量制御	CBR
MPEG4 フレームレート	15 fps
MPEG4I フレーム間隔	30
MPEG4 プライオリティ	FPS

■ 音声ページ (VN-V686WPC のみ)
(P. 26 ページ)

項目	工場出荷値
通信方式	半二重
マイクゲイン	32 dB
マイク電源供給	On
音声再生ファイル 1	—
音声再生ファイル 2	—
音声再生ファイル 3	—
音声再生ファイル 4	—
音声再生ファイル 5	—

■ アラームページ (P. 30 ページ)

項目	工場出荷値
アクション	無効
条件 1	入力 1 メイク
条件 1-2 の間隔	—
条件 2	無効
アクションポジションナンバー	—
音声再生ファイル (VN-V686WPC のみ)	—
トリガーポジションナンバー	—
メールアドレス	—
メール送信データ	—
画像添付	Off
TCP/UDP IP アドレス	—

TCP/UDP ポート番号	—
TCP/UDP 通知データ	—
アラーム出力持続時間	—
アラーム動作適用時間帯指定	常に動作する

■ アラーム環境ページ (P. 34 ページ)

項目	工場出荷値
SMTP サーバー	0.0.0.0
ポート番号	25
差出人メールアドレス	—
POP before SMTP	無効
POP サーバー	0.0.0.0
ポート番号	110
ユーザー名	—
パスワード	—
FTP サーバー	0.0.0.0
パス名	—
ユーザー名	—
パスワード	—
周期的 FTP	Off
周期的 FTP 間隔	1
周期的 FTP 命名	Auto
周期的 FTP 時間帯指定	常に動作する
プリポスト記録 フレームレート	15 fps
プリポスト記録 プリトリガー	5 秒
プリポスト記録 ポストトリガー	5 秒
出力持続時間 出力 1	1000 ミリ秒
出力持続時間 出力 2	1000 ミリ秒
手動 出力 1	ブレイク
手動 出力 2	ブレイク

■ PTZ ページ (P. 37 ページ)

項目	工場出荷値
モード	無効
リターン時間	1 分
自動追尾 / インテリジェント追尾 リスタート時間	Off
自動追尾 / インテリジェント追尾 自動追尾検出レベル	5
追尾ズーム連動	On
追尾ズームリミット	10 倍
電子ズームリミット	2
パンリミット	Off
チルトリミット	0 度
プリセットポジション移動スピード	4
オートフリップ	デジタルフリップ Off (VN-V686WPC のみ)

設定 (つづき)

各ページの工場出荷値一覧表 (つづき)

■ オートパトロールページ (P. 43 ページ)

項目	工場出荷値
ポジション	0~99
時間	10 秒

■ プライバシーマスクページ (P. 45 ページ)

項目	工場出荷値
プライバシーマスク	Off
マスク番号 0~7	Off
明るさ設定	4
オペレータパスワード	jvc

■ 動き検出ページ (P. 47 ページ)

項目	工場出荷値
マスク	マスク解除
動き検出	Off
検出感度	5

■ ネットワーク基本ページ (P. 49 ページ)

項目	工場出荷値
IP 設定	固定 IP
IP アドレス	192.168.0.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0
ホスト名	—
DNS サーバー	0.0.0.0
IP プロトコル	IP version4 : On IP version6 : Off
IPv6 アドレス	Disable

■ ネットワーク詳細ページ (P. 50 ページ)

項目	工場出荷値
JPEG TOS	0
MPEG4 TOS	0
音声 TOS (VN-V686WPC のみ)	0
TTL (ユニキャスト)	64
TTL (マルチキャスト)	32
MTU	1500
ネゴシエーション	Auto

■ プロトコルページ (P. 51 ページ)

項目	工場出荷値
HTTP サーバーポート	80
VSIP プロトコル	Off
VSIP サーバーポート	5510
AMX デバイス発見プロトコル	On
モード	クライアント数優先

■ 手動配信ページ (P. 52 ページ)

項目	工場出荷値
JPEG 宛先アドレス	255.0.1.1
JPEG 宛先ポート	49152
JPEG フレームレート	15 fps
MPEG4 宛先アドレス	225.0.2.1
MPEG4 宛先ポート	59152
音声宛先アドレス (VN-V686WPC のみ)	225.0.3.1
音声宛先ポート (VN-V686WPC のみ)	39152

■ アクセス制限ページ (P. 54 ページ)

項目	工場出荷値
アクセス制限	登録先を禁止
IP アドレス	—

■ 時刻ページ (🔗 56 ページ)

項目	工場出荷値
Sntp	無効
NTP サーバー	0.0.0.0
取得間隔	時,1
タイムゾーン	(GMT+9:00)Japan

■ パスワードページ (🔗 57 ページ)

項目	工場出荷値
ユーザー名	“admin”
新しいパスワード	表示は空欄 工場出荷時のパスワードは、 “admin” : jvc “operator” : jvc “user” : jvc

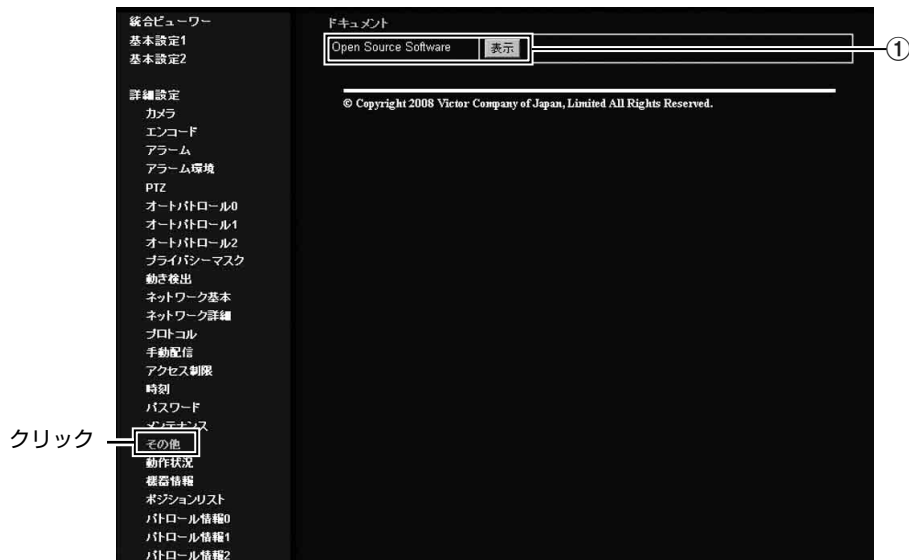
設定 (つづき)

その他のページ

情報を取得するページです。

“admin”、“operator” および “user” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [その他] をクリックしてください。



① Open Source Software

[表示] をクリックすると、カメラで利用しているソフトウェアに関する情報が表示されます。

動作状況ページ

動作状況を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [動作状況] をクリックしてください。

動作状況	
① 全ビットレート	カメラが送信している TCP/UDP の合計ビットレートと、それぞれのビットレートを表示します。
② 配信先	カメラが送信している宛先を表示します。
ログ	
③ システムログ	以下の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none">● 起動からの秒数● アラームなどの検出情報

設定 (つづき)

機器情報ページ

バージョン情報および設定値を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [機器情報] をクリックしてください。

クリック

総合メニュー

基本設定1

基本設定2

詳細設定

カメラ

エンコード

音声

アラーム

アラーム環境

PTZ

オートリセット0

オートリセット1

オートリセット2

プライバシーマスク

動き検出

ネットワーク基本

ネットワーク詳細

プロトコル

手動配信

アクセス制限

時刻

パスワード

メンテナンス

子の機

動作状況

機器情報

ボショノリスト

パスワード情報0

パスワード情報1

パスワード情報2

バージョン

ネットワーク処理部	0.10
制御制御部	ES149
映像処理部	0.01
レンズ	19

カメラ

カメラ ID	VN-V686
モニタータイプ	カスタム
ブラックレベル	1
ガンマ	1
アクティブガンマレベル	0
エンハンス帯域	High
エンハンスレベル	0
カラーレベル	0
スタビライザ	Off
スタビライザレベル	中
三次元ノイズリダクション	Mid
AGC	Super
電子感度アップ	Off
優先順位	AGC
シャッタースピード	1/60
白黒モード	カラー
IRプリセットAF	Off
照明	通常

エンコード

フレームサイズ	JPEG	MPEG4
	VGA	VGA

JPEG

画質	VFS4
サイズ	30 kB

MPEG4

ビットレート	2000 kbps
符号量制御	CBR
フレームレート	15 fps
Iフレーム間隔	30 フレーム
プライオリティ	FPS

音声

通信方式	半二重
マイクゲイン	32 dB
マイク電源供給	On
音声ファイル1	登録なし
音声ファイル2	登録なし
音声ファイル3	登録なし
音声ファイル4	登録なし
音声ファイル5	登録なし

アラーム設定

番号	成立条件 / アクション	
01	成立条件
	アクション	無効
02	成立条件
	アクション	無効
03	成立条件
	アクション	無効
04	成立条件
	アクション	無効
05	成立条件
	アクション	無効

アラーム環境

アラーム用メール	SMTP (SMTPサーバー: 0.0.0.0) SMTP (ポート番号: 25) 差出人: シェルアプレス SMTP (POP before SMTP: 無効) POP (POPサーバー: 0.0.0.0) POP (ポート番号: 110) POP (ユーザー名:)
アラーム用FTP	FTPサーバー: 0.0.0.0 パス名: ユーザー名: 周期的FTP: Off 周期的FTP 間隔: 1 周期的FTP 宛名: Auto プリアクスト記録 フレームレート: 15 fps プリアクスト記録 プリトリガ: 5 秒 プリアクスト記録 ポストトリガ: 5 秒
アラーム出力	出力1 出力持続時間: 1000 ミリ秒 出力2 出力持続時間: 1000 ミリ秒

PIZ

オートリターン	
モード	無効
リターン時間	1 分

自動追尾 / インテリジェント追尾	
リスタート時間	Off
自動追尾検出レベル	5

インテリジェント追尾	
追尾ズーム連動	On
追尾ズームリミット	10 倍

リミット	
電子ズームリミット	2
パンリミット	Off
チルトリミット	0 度

プリセットポジション移動	
スピード	4

オートフリップ	
オートフリップ	Off

動き検出	
動き検出	Off
検出感度	5
マスクエリア	FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF

設定 (つづき)

機器情報ページ (つづき)

ネットワーク詳細情報	
JPEG	
TOS(DS field)	0
MPEG4	
TOS(DS field)	0
音声	
TOS(DS field)	0
共通	
TTL (ユニキャスト)	64
TTL (マルチキャスト)	32
MTU	1500
ネゴシエーション	Auto
プロトコル	
HTTPサーバーポート	80
VSIPプロトコル	Off
VSIPサーバーポート	5510
AM/音声バイパス発見プロトコル	On
手動配信	
JPEG	
ステータス	-----
アドレス	225.0.1.1
ポート	49152
フレームレート	15
MPEG4	
ステータス	-----
アドレス	225.0.2.1
ポート	59152
音声	
ステータス	-----
アドレス	225.0.3.1
ポート	39152
アクセス制限	
アクセス制限	登録先を禁止
IPアドレス	
時刻	
SNTP	SNTP: 無効 NTPサーバー: 0.0.0.0 取得間隔: 1 時間
時刻/タイムゾーン	時刻: 2008年09月04日 18時25分11秒 タイムゾーン: (GMT+9:00) Japan

© Copyright 2008 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

ポジションリストページ

プリセットポジションの情報を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [ポジションリスト] をクリックしてください。

総合ビューワー	ポジション	登録	タイトル
基本設定1	No.0	登録あり	Home
基本設定2	No.1	登録なし	
詳細設定	No.2	登録なし	
カメラ	No.3	登録なし	
エンコード	No.4	登録なし	
アラーム	No.5	登録なし	
アラーム環境	No.6	登録なし	
PTZ	No.7	登録なし	
オートパトロール0	No.8	登録なし	
オートパトロール1	No.9	登録なし	
オートパトロール2	No.10	登録なし	
プライバシーマスク	No.11	登録なし	
動き検出	No.12	登録なし	
ネットワーク基本	No.13	登録なし	
ネットワーク詳細	No.14	登録なし	
プロトコル	No.15	登録なし	
手動配信	No.16	登録なし	
アクセス制限	No.17	登録なし	
時刻	No.18	登録なし	
パスワード	No.19	登録なし	
メンテナンス			
その他			
動作状況			
機器情報			
ポジションリスト			

クリック

設定 (つづき)

ポジションリストページ (つづき)

No.75		
No.76	登録なし	
No.77	登録なし	
No.78	登録なし	
No.79	登録なし	
No.80	登録なし	
No.81	登録なし	
No.82	登録なし	
No.83	登録なし	
No.84	登録なし	
No.85	登録なし	
No.86	登録なし	
No.87	登録なし	
No.88	登録なし	
No.89	登録なし	
No.90	登録なし	
No.91	登録なし	
No.92	登録なし	
No.93	登録なし	
No.94	登録なし	
No.95	登録なし	
No.96	登録なし	
No.97	登録なし	
No.98	登録なし	
No.99	登録なし	

© Copyright 2008 Victor Company of Japan, Limited All Rights Reserved.

パトロール情報ページ

オートパトロールの情報および設定値を表示します。

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

- [詳細設定] をクリックすると、設定メニューが表示されます。
- [パトロール情報] をクリックしてください。

The screenshot shows a web interface for patrol information. On the left is a sidebar menu with various settings categories. The main area displays a table of patrol schedules. A label 'クリック' (Click) points to the 'パトロール情報' (Patrol Information) menu item in the sidebar.

Patrol Information Table:

順番	タイトル	ボジション	時間
No.0	Home	0	10 秒
No.1			
No.2			
No.3			
No.4			
No.5			
No.6			
No.7			
No.8			
No.9			
No.10			
No.11			
No.12			
No.13			
No.14			
No.15			
No.16			
No.17			
No.18			
No.19			
No.20			
No.21			
No.22			
No.23			
No.24			
No.25			

Navigation Menu (Left Sidebar):

- 統合ビューワー
 - 基本設定1
 - 基本設定2
- 詳細設定
 - カメラ
 - エンコード
 - アラーム
 - アラーム環境
 - PTZ
 - オートパトロール0
 - オートパトロール1
 - オートパトロール2
 - プライバシーマスク
 - 動き検出
 - ネットワーク基本
 - ネットワーク詳細
 - プロトコル
 - 手動配信
 - アクセス制限
 - 時刻
 - パスワード
 - メンテナンス
 - その他
 - 動作状況
 - 機器情報
 - ボジションリスト
 - パトロール情報0
 - パトロール情報1
 - パトロール情報2

設定 (つづき)

パトロール情報ページ (つづき)

No.24		24	10 秒
No.25		25	10 秒
No.26		26	10 秒
No.27		27	10 秒
No.28		28	10 秒
No.29		29	10 秒
No.30		30	10 秒
No.31		31	10 秒
No.32		32	10 秒
No.33		33	10 秒
No.34		34	10 秒
No.35		35	10 秒
No.36		36	10 秒
No.37		37	10 秒
No.38		38	10 秒
No.39		39	10 秒
		40	10 秒
		73	10 秒
No.74			
No.75		75	10 秒
No.76		76	10 秒
No.77		77	10 秒
No.78		78	10 秒
No.79		79	10 秒
No.80		80	10 秒
No.81		81	10 秒
No.82		82	10 秒
No.83		83	10 秒
No.84		84	10 秒
No.85		85	10 秒
No.86		86	10 秒
No.87		87	10 秒
No.88		88	10 秒
No.89		89	10 秒
No.90		90	10 秒
No.91		91	10 秒
No.92		92	10 秒
No.93		93	10 秒
No.94		94	10 秒
No.95		95	10 秒
No.96		96	10 秒
No.97		97	10 秒
No.98		98	10 秒
No.99		99	10 秒

統合ビューワの操作

本機は、統合ビューワを備えています。

Internet Explorer で IP アドレスを入力すると、統合ビューワが起動します。

統合ビューワでは、JPEG・MPEG4 によるモニタリングと音声送受信および PTZ 操作を行うことができます。(音声送受信は、VN-V686WPC のみ可能)

■ 圧縮方式が JPEG の場合、連続した静止画像の表示、静止画のワンショット記録が可能です。

■ 圧縮方式が MPEG4 の場合、MPEG4 エンコードの動画表示が可能です。

- “統合ビューワ画面構成” (☞74 ページ)
- “画質に関する設定” (☞76 ページ)
- “PTZ に関する設定” (☞79 ページ)
- “PTZ 制御” (☞85 ページ)
- “JPEG ビューワに関する設定” (☞90 ページ)
- “MPEG4 ビューワに関する設定” (☞92 ページ)
- “音声モニタに関する設定 (VN-V686WPC のみ)” (☞94 ページ)
- “オペレータパスワード” (☞96 ページ)
- “ビューワの終了” (☞97 ページ)

開いた画面の表示や構成がおかしい場合は、以下の手順でパソコンの設定を確認してください。

- ① [スタート]-[コントロールパネル]-[画面] で [画面のプロパティ] ウィンドウを開く
- ② [画面のプロパティ] ウィンドウの [設定] タブをクリックし、[詳細設定] をクリックする
- ③ [全般] タブの [DPI 設定] が [通常のサイズ (96DPI)] になっているか確認する
- ④ 他の設定になっていた場合、[通常のサイズ (96DPI)] に設定を変更し、Windows を再起動する

統合ビューワーの操作 (つづき)

統合ビューワー画面構成

“admin” および “operator” でアクセスした場合に利用可能です。

“user” でアクセスした場合は、[一時停止 / 再生] 項目 ④、[画像保存] 項目 ⑤、[圧縮方式] 項目 ⑦、[表示サイズ] 項目 ⑧、[詳細設定] 項目 ⑨ のみ利用可能です。



① MENU OFF/ MENU ON	操作メニューの表示 / 非表示を切り換えます。
② 制御	操作メニューを PTZ メニューに切り換えます。“画質に関する設定”、“PTZ に関する設定” “PTZ 制御” を操作する場合にクリックします。 (P.76 ページ)
③ ビューワー設定	操作メニューを “JPEG ビューワー” メニュー、“MPEG4 ビューワー” メニュー、“オペレータ パスワード” メニューに切り換えます。“JPEG ビューワーに関する設定”、“MPEG4 ビューワーに関する設定”、“オペレータ パスワード” を設定する場合にクリックします。
④ 一時停止 / 再生	画像を一時停止 / 再生します。

⑤ 画像保存	<p>表示中の画像をパソコンにキャプチャーします。パソコンの[マイドキュメント]の下に作成したフォルダーにJPEG ファイルとして記録されます。フォルダー名は、工場出荷時“VN-V685”(VN-V685)、“VN-V686B”(VN-V686B/VN-V686WPC)、“VN-V686WPC”(VN-V686WPC)になっています。ファイル名は「年月日、時分秒、ミリ秒」を示します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Windows Vista の場合は、[ドキュメント]に画像が保存されます。 ● フォルダー名を変更することができます。(☞ 91 ページ) <p>ご注意：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ここで表示される時刻はパソコンの時刻です。カメラの時計の“時刻”ではありません。 ● 動画としてキャプチャーをすることはできません。 ● MPEG4 画像を、キャプチャーすることはできません。
⑥ 音声送信 (VN-V686WPC のみ)	<p>クライアント PC からカメラに音声の送信を開始します。1台のカメラに対して音声送信できるのは1本のストリームのみです。1台のクライアント PC が音声送信しているときは、別のクライアント PC からは送信できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 音声送信中、[音声送信]が赤色で点灯します。 ● 音声送信できないときは、[音声送信]が赤色になりません。 <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JPEG ビューワーと MPEG4 ビューワーの両方から音声送信することはできません。
⑦ 圧縮方式	<p>取得するストリームを切り換えます。JPEG、MPEG4 のどちらかを設定できます。</p>
⑧ 表示サイズ	<p>画像領域の表示サイズを設定します。</p> <p>[可変] : ブラウザのウィンドウサイズに合わせて表示します。</p> <p>[等倍] : 設定したフレームサイズの等倍で表示します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [可変]/[等倍] どちらの場合もブラウザのウィンドウサイズは変わりません。
⑨ 詳細設定	<p>各種設定ページを起動します。</p>

メモ：_____

- 統合ビューワーの設定は Cookie というファイルに保存されています。

この設定画面ではパソコン上のソフトウェアとして統合ビューワーの設定を行うものであり、カメラ本体の設定を操作するものではありません。
設定を変更する際は、[OK]をクリックし、統合ビューワーを終了して再起動してください。

■ Cookie ファイルの検索と削除

- Internet Explorerの[ツール]-[インターネットオプション]-[全般]を開き、[インターネット一時ファイル]の[設定]をクリックします。
新たに[設定]ウィンドウが開き、その中の[ファイルの表示]をクリックします。さらに[Temporary Internet Files]ウィンドウが開き、ファイル一覧が表示されます。その中にある“cgi-bin/”という名前のファイルが内蔵ビューワー用 Cookie です。
- このファイルを削除するとビューワーの設定が削除され、次回ビューワーを起動するときは初期化された状態で動作します。

統合ビューワーの操作 (つづき)

画質に関する設定

■ 画質調整

画質調整を行います。

- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックし、切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

クリック



① ホワイトバランス	ホワイトバランス調整機能を選択します。
モード	<p>ATW-Wide : Auto-Tracking White Balance (自動色温度追尾) モードになります。照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。 (色温度 2300 K~10000 K の範囲)</p> <p>ATW-Narrow : “ATW-Wide” より狭い色温度の範囲に対応します。 (色温度 3200 K~8000 K の範囲)</p> <p>ATW-Full : より広い範囲で ATW 動作を行います。</p> <p>ATW-Sodium : 高圧ナトリウムランプ光源下で見た目に近い色合いになります。</p> <p>AWC : Auto-White Balance Control (オートホワイトバランス調整) モードになります。AWC では、[R ゲイン], [B ゲイン] 項目で設定された数値がホワイトバランスに反映されます。</p>
R ゲイン	<p>AWC 時の R (赤) の色相を調整します。</p> <p>[+] : 赤み、赤レベルなどを強くします。</p> <p>[-] : 赤み、赤レベルなどを弱くします。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> • [+]、[-] を 1 回クリックすると 1 段階変化します。続けて変化させたい場合はクリックを繰り返してください。[+]、[-] を押したままだと連続して変化しません。
B ゲイン	<p>AWC 時の B (青) の色相を調整します</p> <p>[+] : 青み、青レベルなどを強くします。</p> <p>[-] : 青み、青レベルなどを弱くします。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> • [+]、[-] を 1 回クリックすると 1 段階変化します。続けて変化させたい場合はクリックを繰り返してください。[+]、[-] を押したままだと連続して変化しません。
[AWC] ボタン	<p>AWC (オートホワイトバランス調整) を実行します。被写体と同じ照明条件の場所で、画面の中心付近に白いものを置いて実行してください。[AWC] をクリックすると AWC モードに切り換わります。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> • [AWC] をクリックすると、[Rゲイン], [Bゲイン]項目の値がAWC実行結果を反映した値に置き換わります。 • [ホワイトバランス] 項目をを “ATW-Narrow”、 “ATW-Wide” に設定していても、[AWC] をクリックすると自動的に AWC モードに切り換わります。
② アイリス	アイリスの設定を行います。
モード	オート -1, オート, オート +1 に設定した場合、自動的にアイリスを調整します。
マニュアル	[+]、[-] をクリックして調整することもできます。その場合、[+]、[-] を押している間アイリスが変化し、離すと止まります。

統合ビューワーの操作 (つづき)

画質に関する設定 (つづき)

<p>③ 逆光補正</p> <p>モード</p>	<p>逆光補正機能を選択します。強い光源などが被写体と同じ方向にあるときに設定します。不要な光源が測光エリア外になるようにします。</p> <p>Off : 逆光補正しません。 エリア 1～ エリア 4 : 4 種類の測光エリアの中から選択します。</p> <p>[設定値: Off, エリア 1, エリア 2, エリア 3, エリア 4]</p> <p>測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア 測光エリア</p> <p>Off エリア 1 エリア 2 エリア 3 エリア 4</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 逆光補正のエリアはデジタル PTZ には連動しません。
<p>④ 白黒モード</p> <p>モード</p>	<p>カラーから白黒モードに切り換える機能について設定します。</p> <p>カラー : 常にカラーモードになります。 白黒 : 常に白黒モードになります。 オート : オート-低, オート-中, オート-高</p> <p>照度によって、自動的にカラーモードと白黒モードを切り換えます。感度を 3 種類から選択して設定してください。照度が 30 秒間続けて判定範囲内に入っていると、モードが切り換わります。</p> <p>[設定値: カラー, 白黒, オート]</p> <p>メモ: _____</p> <p>白黒/カラー切り換えを確実にを行うために</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [白黒モード]項目をオート-低, オート-中, オート-高に設定すると、被写体の明るさに応じて白黒/カラーの切り換えを行うことができますが、照明の条件や画角によっては切り換わらないことがあります。より確実に切り換えを行うためには、外部センサー (別売) を本機のアームケーブルと接続し、切り換えを行うことをおすすめいたします。

PTZに関する設定

■ プリセットポジション

プリセットポジションの設定をします。

- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

クリック



■ プリセットポジション

プリセットポジションの設定をします。

- [オートフリップ]項目が“デジタルフリップ”に設定されている場合、チルト角度が90度を越える位置ではプリセットポジションを登録できません。[オートフリップ] (P42 ページ)

メモ：

- プリセットポジション設定時、[パンリミット]が“On”になっている場合、禁止領域ではパン操作できません。[パンリミット] (P40 ページ)
- プリセットポジション移動は、パンリミットより優先される動作なので、[パンリミット]が“Off”の状態でもプリセットポジションの設定を行い、その後[パンリミット]を“On”に設定した場合は、禁止領域に関係なくパン動作します。[パンリミット] (P40 ページ)
- プリセットポジションに記憶される項目は、パン、チルト、ズーム、フォーカス、ポジションタイトル、ホワイトバランス、アイリス、逆光補正です。

① ポジション

ポジションを選択します。

[設定値：HOME、1~99]

統合ビューワの操作 (つづき)

PTZに関する設定 (つづき)

■ プリセットポジション (つづき)	
② モード	<p>現在のタイトルが表示されます。 タイトルを登録、変更する場合はここへ入力します。 (英数字 32 文字、日本語 16 文字まで入力可能。JPEG ビューワで表示されるのは、英数字 16 文字まで、日本語は 8 文字までです。) [登録] をクリックすると、ポジション登録が完了します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [削除] をクリックすると、選択されているポジションの情報が削除されます。ただし、[HOME] は削除できません。 ● 工場出荷時のホームポジションの表示領域は全画面となっています。
③ パン/チルト/ズーム	<p>■ パン/チルト操作 矢印をクリックすると、その方向に表示領域が移動します。矢印を離すと移動が停止します。 [H] をクリックするとホームポジションに移動します。</p> <p>■ ズーム操作 表示領域のズーム操作を行います。</p> <p>[+] : ズームが望遠になり、被写体が大きく映ります。 [-] : ズームが広角になり、被写体が小さく写ります。</p> <p>■ 表示倍率 現在の表示倍率を表します。</p> <p>メモ：_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [+] 操作による被写体の拡大倍率は[電子ズームリミット]の設定により制限することができます。(☞ 40 ページ)
④ スピード	<p>動作スピードの設定を行います。</p> <p>パン/チルト : [パン/チルト]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 [設定値：1~8]</p> <p>ズーム : [ズーム]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 [設定値：1~4]</p>

メモ：_____

- マウスを使ってパン・チルト操作することもできます。
 画面をクリックすると、クリックした位置が表示領域の中心になります。

■ オートパン

オートパンの設定をします。

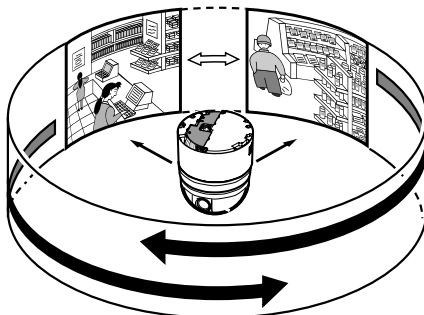
- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

クリック



統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZに関する設定 (つづき)



<p>■ オートパン</p>	<p>設定された [開始位置] から一定の速度で移動するオートパン動作の設定を行います。</p>
<p>① モード</p>	<p>オートパン動作の [モード] を選択します。</p> <p>右回り : [開始位置] から右方向に水平回転します。 左回り : [開始位置] から左方向に水平回転します。 往復 : [開始位置] から右回りで [戻り位置] へ向かい、 [開始位置] と [戻り位置] の間を往復移動します。 下記制約を除き、任意の位置を開始位置と戻り位置に設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チルト角 90 度以上 : 90 度以上で設定した場合、エラーメッセージを表示します。 ●電子ズーム領域 : 電子ズーム領域で設定した場合、光学ズームの最大倍率が設定されます。 <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [開始位置] と [戻り位置] のズーム倍率が異なる場合は、ズームとパン/チルトの運動が均等にならないことがあります。
<p>② スピード</p>	<p>オートパンの動作速度を選択します。</p> <p>[設定値 : 低速, 中速, 高速]</p>
<p>③ 開始位置 戻り位置</p>	<p>動作の [開始位置] と [戻り位置] (“往復” 時のみ) を設定します。 カメラをマニュアル操作し、位置を決め [登録] をクリックして登録します。 [移動] : カメラが登録されている位置に移動します。 [登録] : オートパン設定が完了します。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マニュアル操作の詳細は [PTZ 制御] (☞85 ページ) をご覧ください。

■ オートトレース

オートトレースの設定をします。

- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

クリック



■ オートトレース

カメラをマニュアル操作した内容を記憶し、再現します。

- オートトレースはマニュアル操作を簡易的に記憶しているため、再生時に位置が多少ずれることがあります。
- オートトレースの記録中は、デジタルフリップを利用できません。

① 状態

[記録開始] : オートトレースの記録が開始され、これ以降のパン/チルト操作、ズーム操作が記録されます。(約 30 秒間)

[記録終了] : 記録する動作が終了したらクリックします。

メモ:

- マニュアル操作の詳細は [PTZ 制御] (P.85 ページ) をご覧ください。

[状態] 表示部

現在の状態が表示されます。

Standby : 登録待ちです。[記録終了]は無効となります。

Recording : 記録中です。[記録終了]をクリックすると記録を終了し、“Completed”を表示します。

Completed : 登録が完了しました。“Completed”が 3 秒間表示された後、“Standby”が表示されます。

Timeout : 記録開始から 30 秒経過しました。(30 秒間の操作は記録されます。)“Timeout”が 3 秒間表示された後、“Standby”が表示されます。

Memory Full : 登録動作の範囲を超えました。30 秒以内であってもそれ以上記録することができません。(それ以前の操作は記録されます。)“Memory Full”が 3 秒間表示された後、“Standby”が表示されます。

統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZに関する設定 (つづき)

■ オートトレース (つづき)	
<p>② パン/チルト/ズーム</p>	<p>■ パン/チルト操作 矢印をクリックすると、その方向に表示領域が移動します。矢印を離すと移動が停止します。 [H] をクリックするとホームポジションに移動します。</p> <p>■ ズーム操作 表示領域のズーム操作を行います。</p> <p>[+] : ズームが望遠になり、被写体が大きく映ります。 [-] : ズームが広角になり、被写体が小さく写ります。</p> <p>■ 表示倍率 現在の表示倍率を表します。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> • [+]操作による被写体の拡大倍率は[電子ズームリミット]の設定により制限することができます。(P. 40 ページ)
<p>③ スピード</p>	<p>動作スピードの設定を行います。</p> <p>パン/チルト : [パン/チルト]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 [設定値: 1~8]</p> <p>ズーム : [ズーム]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。 [設定値: 1~4]</p>

PTZ 制御

■ PTZ 制御

PTZ 機能进行操作します。

- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックし、切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

クリック



統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZ 制御 (つづき)

<p>■ PTZ 制御</p>	<p>カメラを操作して、登録するポジションの画角、画質などを調節します。</p>
<p>① オート機能</p>	<p>動作を選択します。</p> <p>[開始] : 選択したオート機能を開始します。</p> <p>[停止] : 実行中のオート機能を停止します。</p> <p>メモ: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “オートパトロール” 選択時はパトロールモードのリストが表示されます。 ● “インテリジェント追尾” 選択時は対象のリストが表示されます。 <hr/> <p>オートパン : 設定したオートパン動作を行います。(☞ 81 ページ)</p> <p>オートパトロール : 設定したパトロール動作を実行します。[パトロールモード] を選択してください。(☞ 43 ページ)</p> <p>オートトレース: 設定したオートトレース動作を行います。(☞ 83 ページ)</p> <p>自動追尾 : 自動追尾を行います。(☞ 38 ページ) 自動追尾を動作させている間、動き検出は動作しません。</p> <p>インテリジェント追尾 : インテリジェント追尾を行います。(☞ 88 ページ)</p> <p>ご注意: _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [オートリターン]の[モード]項目が“オートパトロール”に設定されている場合に、本画面でオートパトロールを開始すると、[オートリターン]の“オートパトロール”モードが本画面で開始したモードに変更されます。[オートリターン](☞37 ページ) ● オートパンを開始させると、左回転、右回転、もしくはリターン動作を繰り返します。 ● オートパトロールを開始させると、一連の動作を終えた後に、先頭に戻って繰り返します。オートトレースを動作させると、一連の動作を行なった後に開始位置へ戻り、30 秒後に再開します。オートリターン機能が設定されている場合には、手動で開始したオート機能は中断され、オートリターンの動作が行われます。

■ PTZ 制御 (つづき)

<p>② プリセットポジション</p>	<p>プリセットポジションを選択します。選択したポジションが登録済みの場合は、選択したポジションに移動します。</p> <p>[設定値：HOME, 1~19]</p>
<p>③ フォーカス</p>	<p>フォーカスの調整を行います。</p> <p>モード : 現在のモードを表示します。</p> <p>イージー AF : 手動でパン、チルト、ズーム操作を行なった後、自動的にオートフォーカス (AF) が働きます。手動で操作することが多い場合、カメラを動かすごとにフォーカスを取り直す必要がなく便利です。</p> <p>マニュアル : [+], [-] をクリックし手動でフォーカスを調整します。 [+], [-] を押している間フォーカスが変化し、離すと止まります。</p> <p>[フォーカス] ボタン : クリックすると約 1 秒で自動的にフォーカスを合わせます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “イージーAF” は被写体によって十分にフォーカスが合わないことがあります。その場合は手動でフォーカスを合わせてください。
<p>④ パン/チルト/ズーム</p>	<p>■ パン/チルト操作</p> <p>矢印をクリックすると、その方向に表示領域が移動します。矢印を離すと移動が停止します。</p> <p>[H] をクリックするとホームポジションに移動します。</p> <p>■ ズーム操作</p> <p>表示領域のズーム操作を行います。</p> <p>[+] : ズームが望遠になり、被写体が大きく映ります。</p> <p>[-] : ズームが広角になり、被写体が小さく写ります。</p> <p>■ 表示倍率</p> <p>現在の表示倍率を表します。</p> <p>メモ : _____</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [+]操作による被写体の拡大倍率は[電子ズームリミット]の設定により制限することができます。(P. 40 ページ)
<p>⑤ スピード</p>	<p>動作スピードの設定を行います。</p> <p>パン/チルト : [パン/チルト]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。</p> <p>[設定値：1~8]</p> <p>ズーム : [ズーム]の動作スピードの設定を行います。設定値が大きくなるほど、動作スピードが速くなります。</p> <p>[設定値：1~4]</p> <p>バリエابل : ズームの倍率によってパン/チルトの動作スピードを調整する機能です。チェックを入れると Tele (望遠) 側では遅く、Wide (広角) 側では速く動きます。チェックをはずすと、ズームの倍率に関わらず、常にパン/チルトで設定したスピードで動きます。</p>

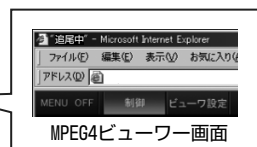
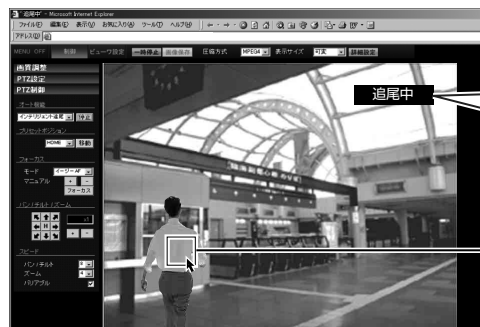
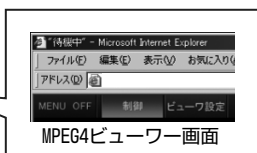
統合ビューワーの操作 (つづき)

PTZ 制御 (つづき)

■ インテリジェント追尾機能

インテリジェント追尾を操作します。

- 他のメニューが表示されているときは、[制御]をクリックし、切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。



■ インテリジェント追尾

ビューワー画面上で被写体をクリックし、選択された被写体の色情報を追いかけて撮影します。

① [オート機能] 項目 ① の [インテリジェント追尾] を選択します。

② [開始] をクリックします。

- “待機中” と表示されます。

③ ビューワー画面上で、追尾したい被写体をクリックします。

- 被写体が [追尾枠] (青色) で囲まれます。(JPEG ビューワーのみ)
- 被写体が捕捉されている間は、“追尾中” と表示され、カメラが被写体を見失うと“消失中” と表示されます。
- 被写体が捕捉されている間は“追尾中” の表示の左に、カメラが追尾している色情報が表示されます。(JPEG ビューワー)

■ [追尾情報] について

“待機中” : 追尾対象の設定待ち状態です。ビューワー画面上をクリックすることで追尾対象を設定できます。

“追尾中” : 被写体を追尾している状態です。

“消失中” : 被写体を見失っている状態です。被写体と同じ色を探し、見つかると再び追尾を開始します。2 秒間“消失中” の状態が続くと、“搜索中” に移行します。

“搜索中” : 前回追尾していた被写体に類似した色を探している状態です。類似した色が見つかると再び追尾を開始します。

■ 表示について

[追尾枠] (JPEG ビューワーのみ) と [追尾情報] の表示は、設定画面で表示するかしないかを選択できます。(☞ 90 ページ)

■ 表示位置について

JPEG ビューワー : 画面の右上

MPEG4 ビューワー : タイトルバー

メモ:

- “追尾中”、“消失中”、“搜索中” と表示されている間は被写体をクリックすることで、追尾対象を何度でも変更することができます。
- インテリジェント追尾中に設定を変更するとインテリジェント追尾が終了します。

統合ビューワーの操作 (つづき)

JPEG ビューワーに関する設定

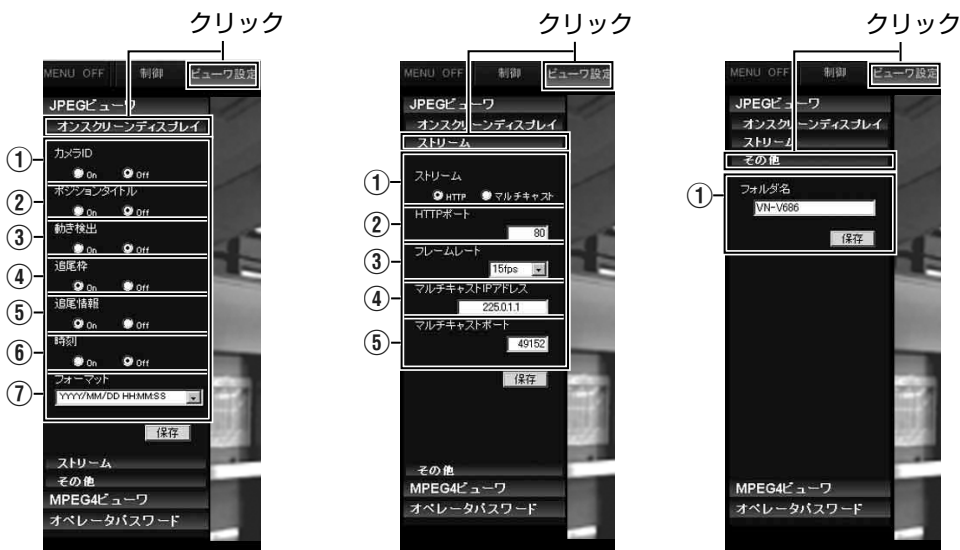
圧縮方式が JPEG の場合は、連続した静止画像の表示や静止画のワンショット記録ができます。インストール時の JPEG ビューワーは、15 fps で再生するように設定されています。

- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

■ オンスクリーンディスプレイ

■ ストリーム

■ その他



<p>■ オンスクリーンディスプレイ</p>	<p>ビューワー画面の表示項目について設定します。 JPEG ビューワーでは、映像の上に文字がオーバーレイ表示されます。</p>
<p>① カメラ ID</p>	<p>[カメラ ID] を表示する場合には、“On” を選択します。 [カメラ ID] は、[基本設定 2] または、[カメラ] ページで設定できます。 (☞ 21 ページ)</p>
<p>② ポジションタイトル</p>	<p>“On” を選択すると、ポジションタイトルが表示されます。</p>
<p>③ 動き検出</p>	<p>“On” を選択すると、動きを検出すると、ビューワーの周囲が赤く強調されます。</p>
<p>④ 追尾枠</p>	<p>“On” を選択すると、インテリジェント追尾の追尾対象を囲む枠（青色）が画面上に表示されます。</p>
<p>⑤ 追尾情報</p>	<p>“On” を選択すると、インテリジェント追尾の状態が “待機中”、“追尾中”、“消失中”、“捜索中” と画面上に表示されます。 (☞ 89 ページ)</p>

■ オンスクリーンディスプレイ (つづき)	
⑥ 時刻	時刻を表示する場合には、“On”を選択します。 JPEG データの中に収納されている時刻を表示します。
⑦ フォーマット	時刻を表示する形式を選択します。 YYYY, MM, DD は年月日を意味し、HH, MM, SS はそれぞれ時分秒を意味します。mm は 100 分の 1 秒です。
■ ストリーム	
① ストリーム	ビューワーがカメラからデータを取得する際のプロトコルを選択します。 “HTTP”を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“マルチキャスト”を選択すると多数のビューワーでカメラをモニターできます。 なお“マルチキャスト”で再生する場合には、[手動配信]ページにおいて“マルチキャスト”を送信開始してください。(☞ 52 ページ) ご注意： <ul style="list-style-type: none"> ● “マルチキャスト”に設定して統合ビューワーを起動した際に、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ブロックしない”を選択して先へ進んでください。 ● “ブロックする”を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、ビューワーはマルチキャストを再生できません。
② HTTP ポート	HTTP のポート番号を変更できます。 工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 51 ページ)
③ フレームレート	ビューワーが取得するフレームレートを選択します。 大きなフレームレートを選択すると、ビューワーを動作させるパソコンの処理量が増えます。 [設定値：30, 25, 15, 10, 7.5, 6, 5, 3, 2, 1, 1/2, 1/3, 1/5, 1/10, 1/15, 1/20, 1/30, 1/60] ご注意： <ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの CPU 負荷が 80 %以下になるように設定してください。CPU 負荷が大きいとパソコンが正常に動作しない場合があります。
④ マルチキャスト IP アドレス	マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 255.0.1.1 です。
⑤ マルチキャストポート	マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、49152 番です。 [手動配信]ページの JPEG[配信]項目で[開始]を選択した場合に有効です。 カメラの[手動配信]ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 52 ページ)
■ その他	
① フォルダ名	キャプチャーしたファイルを保存するフォルダ名を変更することができます。(ビューワーインストール時：“VN-V685”(VN-V685), “VN-V686B”(VN-V686B/VN-V686WPC), “VN-V686WPC”(VN-V686WPC)です。)

統合ビューワーの操作 (つづき)

MPEG4 ビューワーに関する設定

圧縮方式が MPEG4 場合は、MPEG4 エンコードの動画表示ができます。

- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定]をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

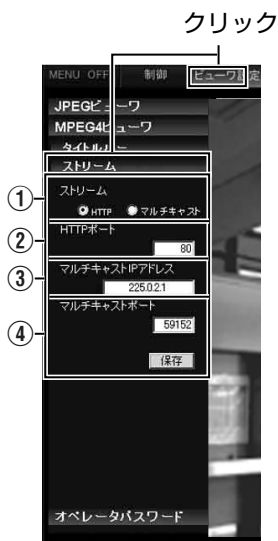
メモ：

- カメラのMPEG4ビューワーを利用するには、オープンソースのコーデック ffdshow をインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。お客様によるオープンソースソフトウェアのご使用については、当社は一切の責任を負いません。

■ タイトルバー



■ ストリーム



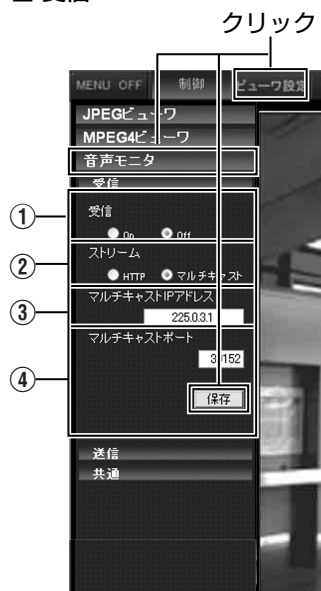
<p>■ タイトルバー</p> <p>① カメラ ID</p> <p>② ポジションタイトル</p> <p>③ 追尾情報</p> <p>④ 時刻</p> <p>⑤ フォーマット</p>	<p>ビューワー画面の表示項目について設定します。 MPEG4 ビューワーでは、ウィンドウのタイトルバーに文字が表示されます。</p> <p>[カメラ ID] を表示する場合には、“On” を選択します。 [カメラ ID] は、[基本設定 2] または [カメラ] ページで設定できます。 (☞ 21 ページ)</p> <p>“On” を選択すると、ポジションタイトルが表示されます。</p> <p>“On” を選択すると、インテリジェント追尾の状態が“待機中”、“追尾中”、“消失中”と画面上に表示されます。(☞ 40 ページ)</p> <p>“On” を選択すると、時刻が表示されます。</p> <p>時刻を表示する形式を選択します。 YYYY, MM, DD は年月日を意味し、HH, MM, SS はそれぞれ時分秒を意味します。mm は 100 分の 1 秒です。</p>
<p>■ ストリーム</p> <p>① ストリーム</p> <p>② HTTP ポート</p> <p>③ マルチキャスト IP アドレス</p> <p>④ マルチキャストポート</p>	<p>MPEG4 ストリーム受信について設定します。</p> <p>ビューワーがカメラからデータを取得する際のプロトコルを選択します。“HTTP” を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“マルチキャスト” を選択すると多数のビューワーでカメラをモニターできます。 なお“マルチキャスト”で再生する場合には、[手動配信] ページにおいて“マルチキャスト”を送信開始してください。(☞ 52 ページ)</p> <p>ご注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “マルチキャスト” に設定して統合ビューワーを起動した際に、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ブロックしない” を選択して先へ進んでください。 ● “ブロックする” を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、ビューワーはマルチキャストを再生できません。 <p>HTTP のポート番号を変更できます。工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 51 ページ)</p> <p>マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 225.0.2.1 です。</p> <p>マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、59152 番です。 [手動配信] ページの MPEG4[配信] 項目で [開始] を選択した場合に有効です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(☞ 52 ページ)</p>

音声モニタに関する設定 (VN-V686WPC のみ)

JPEG ビューワー、MPEG4 ビューワーを使って音声を送受信するための設定をします。

- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定]をクリックして切り換えます。
- 画面左側の各メニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

■ 受信



■ 送信



■ 共通



■ 受信設定	カメラから配信される音声の受信に関して設定します。
① 受信	受信の有無を設定します。受信する場合は、“On”を選択します。
② ストリーム	<p>受信する音声のストリームの形式を選択します。 “HTTP”を選択すると、パケットロスが起こった場合には再送によってリカバリーされます。“マルチキャスト”を選択すると、多数のクライアントPCでカメラの音声をモニターできます。なおマルチキャストで受信する場合には、[手動配信]ページにおいてマルチキャストを送信開始してください。(P. 52 ページ)</p> <p>ご注意:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “マルチキャスト”に設定して統合ビューワーを起動したときに、Windows ファイアウォールが警告を表示する場合があります。その場合は、“ブロックしない”を選択して先へ進んでください。 ● “ブロックする”を選択すると、Windows ファイアウォールがマルチキャストストリームをブロックするので、クライアントPCは音声を受信できません。
③ マルチキャスト IP アドレス	マルチキャスト IP アドレスを変更できます。 工場出荷時は 225.0.3.1 です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(P. 52 ページ)
④ マルチキャストポート	マルチキャストのポート番号を変更できます。 工場出荷時は、39152 番です。 カメラの [手動配信] ページに設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(P. 52 ページ)
■ 送信設定	パソコンからカメラへの音声送信に関して設定します。
① 宛先ポート	パソコンからカメラへの音声送信の宛先ポートを変更できます。工場出荷時は、49298 番です。
■ 共通	HTTP ポートの設定を入力します。
① HTTP ポート	クライアントPCがHTTPでカメラへアクセスする場合のポート番号を変更できます。 工場出荷時は、80 番です。 カメラのプロトコルページで設定してあるパラメーターと同じ値を指定してください。(P. 51 ページ)

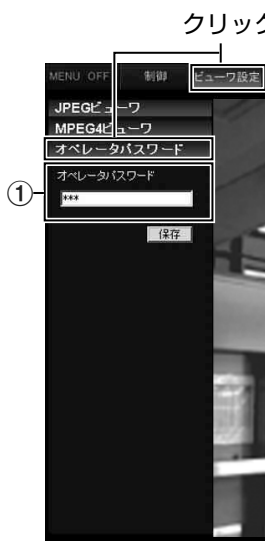
統合ビューワーの操作 (つづき)

オペレーター パスワード

PTZ 操作に必要なオペレーターパスワードの設定をします。

- 他のメニューが表示されているときは、[ビューワー設定] をクリックして切り換えます。
- 画面左側のメニューバーをクリックし、設定画面を開いてください。

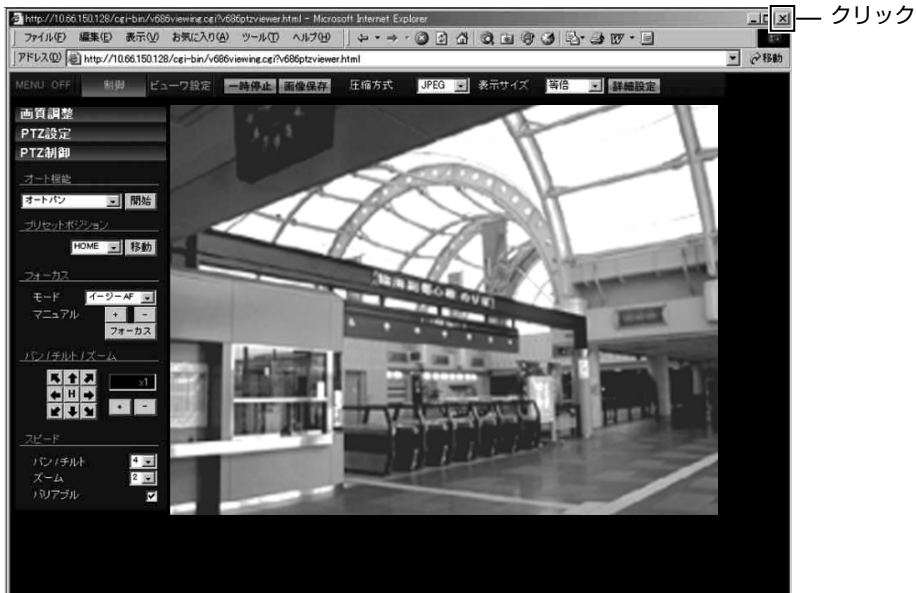
■ オペレーターパスワード



① オペレーター パスワード	PTZ 操作に必要なオペレーターパスワードの設定を行います。
オペレーター パスワード	オペレーターパスワードを入力します。

ビューワーの終了

ウィンドウ右上の [×] ボタンで終了します。



- 次回、統合ビューワーを起動する際には、Internet Explorer を起動しアドレス欄に統合ビューワーの URL を入力します。
例えばカメラの IP アドレスが 192.168.0.2 であれば、次を入力してください。

http://192.168.0.2/

メモ：

- [セキュリティ警告] 画面が表示されたら [OK] をクリックし、先に進んでください。

こんなときは

症状	原因と対応	参照ページ
カメラの IP アドレスがわからない	<ul style="list-style-type: none"> 工場出荷時であれば 192.168.0.2、サブネットマスクは 255.255.255.0 です。 [IP 設定] が “DHCP” に設定されており、DHCP サーバーが存在しない LAN で起動した場合には、工場出荷時の IP アドレスで起動します。 同じ LAN に設定されているパソコンからであれば、検索ツールを使って検索できます。 	☞ 10 ページ
カメラの Web ページを閲覧できない	Internet Explorer の設定を確認してください。また、プロキシサーバーをご使用の場合には、Internet Explorer のプロキシサーバーの設定を行なってください。	☞ 8 ページ
統合ビューワーをインストールできない	Internet Explorer の設定を確認してください。統合ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて統合ビューワーを使った際に ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを受け付けない場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから内蔵ビューワーをインストールしてください。	☞ 74 ページ
統合ビューワーをインストールする際に、VeriSign 社による認証が表示される	統合ビューワーには VeriSign 社の電子署名が行われています。パソコンがインターネットに接続されているネットワーク環境では、VeriSign 社の認証によって統合ビューワーの真正性を確認できるようになっています。	—
統合ビューワーを起動すると警告メッセージが出る	統合ビューワーは ActiveX というソフトウェアコンポーネントで構成されています。はじめて内蔵ビューワーを使った際に ActiveX がインストールされますが、アンチウィルスソフトの設定によっては ActiveX のインストールを受け付けない場合があります。そのような場合にはアンチウィルスソフトの設定を変更してから内蔵ビューワーをインストールしてください。	—
TCP の画像が再生されない	カメラが TCP 送信できる画像の最大本数は 20 で、1 台のカメラへ接続できる統合ビューワーは最大で 20 個となります。それ以上の箇所をモニターしたい場合は、マルチキャストをご利用ください。カメラは JPEG と MPEG4 のマルチキャストを 1 本ずつ送信可能です。	☞ 3 ページ

症状	原因と対応	参照ページ
マルチキャストの映像が再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラの [手動配信] ページから手動でマルチキャストを送信開始してください。 ● 統合ビューワーでマルチキャスト受信する場合、カメラの [手動配信] ページと統合ビューワーの設定とで、マルチキャストアドレスとポート番号が一致しているか確認してください。またマルチキャストは IGMP v2 に対応したネットワークでご利用ください。 ● Windows のファイアウォールによってデータがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。 Windows XP : [スタート]-[コントロールパネル]で [Windows ファイアウォール] をダブルクリックし、[例外] タブにある [ポートの追加 ...] をクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。 Windows Vista : [スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール] で [設定の変更] をダブルクリックし、[例外] タブにある [ポートの追加 ...] をクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 52 ページ ☞ 91 ページ ☞ 93 ページ
統合ビューワーに白い領域が現れる	<p>一部のパソコンでは、Internet Explorer の下記設定を行うと、Internet Explorer の中の一部の領域が描画されず白く残る場合があります。</p> <p>[デスクトップで右クリック]-[プロパティ]-[設定]-[詳細設定]-[全般]-[DPI 設定] で、“ 大きなサイズ ” か “ カスタム設定 ” を選んだ場合は、“ 通常のサイズ ” を選択すれば、正常な描画に戻ります。</p>	—
表示される映像のフレームレートが低い	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合ビューワーを用いている場合は、統合ビューワーの設定を確認してください。 ● ネットワークの帯域が狭い場合には、フレームレートが制約されます。 ● 画像配信設定が、“ クライアント数優先 ” モードに設定されている場合、配信要求が増えると、設定したフレームレートより低いフレームレートで配信されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 27 ページ ☞ 52 ページ ☞ 51 ページ

こんなときは (つづき)

症状	原因と対応	参照ページ
TCP/UDP によるアラーム通知をパソコンで受信できない	<p>● Windows のファイアウォールによってデータがブロックされている場合があります。その場合は下記操作で通過させることができます。</p> <p>Windows XP :</p> <p>[スタート]-[コントロールパネル]で [Windows ファイアウォール] をダブルクリックし、[例外] タブにある [ポートの追加 ...] をクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。</p> <p>Windows Vista :</p> <p>[スタート]-[コントロールパネル]-[Windows ファイアウォール] で [設定の変更] をダブルクリックし、[例外] タブにある [ポートの追加 ...] をクリックし、ポート番号の欄に通過させたいポート番号を登録してください。名前の欄には、任意の文字列を登録してください。</p>	—
FTP サーバーに記録したファイル名が文字バケする	<p>ファイル名に全角文字を使用する場合は、文字コードが EUC-JP の FTP サーバーを使用してください。</p>	☞ 35 ページ
MPEG4 ビューワーが黒画面になる	<p>ffdshow は、インストールしましたか？ 内蔵 MPEG4 ビューワーを利用するには、オープンソースのコーデック ffdshow をインストールしてください。ffdshow はインターネットから入手できます。</p>	—
画面上に“警告：ファン(※)が停止しています。”と表示される。(※は数字)	<p>内部の冷却ファンの異常です。</p> <p>➡“警告：ファン(※)が停止しています。”の表示文字をお控えの上、最寄りのビクターサービスへお問い合わせください。本機の電源は切っておいてください。</p>	—
自動的にパン動作をする	<p>[オートクリーニング] が “On” になっている場合は異常ではありません。設定を確認してください。</p>	☞ 59 ページ
PTZ などの操作ができない	<p>ネットワークの帯域が不足している可能性があります。十分な帯域を確保し、“100 M Full” で運用してください。</p>	☞ 3 ページ ☞ 50 ページ


VN-V685/VN-V686B

ネットワーキングビジネーションカメラ
(ドーム型)

VN-V686WPB/VN-V686WPC

ネットワーキングビジネーションカメラ
(屋外ドーム型)

お客様ご相談センター

 0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX (045)450-2275

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2 電話(042)660-7245